

様式第5号(第6条関係)

2017年 10月 30日

高知市議会議長 高木 妙 様

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者名 下本 文雄



第 2 四半期政務活動費収支報告書

高知市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり提出します。

1 収 入

項 目	金 額 (円)
前 期 繰 越 額	225,997
第 2 四半期政務活動費	2,100,000
利 息	2
合 計	2,325,999

2 支 出

項 目	金 額 (円)
調 査 研 究 費	380,148
研 修 費	995,402
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0
会 議 費	0
資 料 作 成 費	0
資 料 購 入 費	179,806
広 報 広 聴 費	528,332
人 件 費	0
事 務 諸 費	183,631
合 計	2,267,319

3 収支差引額(繰越額)

金

58,680 円

様式第7号(第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	7月 7日 (金)	
	支出先	太平洋トラベル	
	目的・内容・結果等	和歌山市・姫路市行政視察(視察日：5月15日～16日) (掛かった総金額129,440円の内、一部交通費・日当・土産代の21,360円は第1四半期へ計上)	
支出金額など	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費	交通・宿泊費 (108,080)	108,080
	研修費		
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	事務諸費		
			合計
	領収証書及び支払証明書添付枚数 1 枚		
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

領収証

日本共産党高知市議員  
岡本 様

No. 0014581

金額			百		千		円
				3	5	9	0

但し 5/15~16 5F若. 酒油若分屋にて  
29年 7月 7日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳  
税抜  
金額  
消費税額等  
( % )

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
代表取締役 岡本 直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印  


領収証

日本共産党高知市議員  
細木 様

No. 0014582

金額			百		千		円
				3	5	9	0

但し 5/15~16 5F若. 酒油若分屋にて  
29年 7月 7日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳  
税抜  
金額  
消費税額等  
( % )

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
代表取締役 岡本 直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印  


領収証

日本共産党高知市議員  
迫 様

No. 0014583

金額			百		千		円
				3	6	1	0

但し 5/15~16 5F若. 酒油若分屋にて  
29年 7月 7日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳  
税抜  
金額  
消費税額等  
( % )

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
代表取締役 岡本 直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印  


# 請 求 書

2017/5/9

共産党高知市議団 様  
 岡田 様

高知県知事登録第3-73号  
 (有)えびす興産



太平洋トラベル

代表取締役

岡本直人

780-0074 高知市南金田1-19

毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
 下記の通りご請求申し上げます

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376

ご請求金額 ¥35,960

ご旅行期間	2017/5/15 ~ 2017/5/16	担当者	[REDACTED]
-------	-----------------------	-----	------------

項目	明 細		金 額	摘 要
	単価	員数		
5/15-16JR券代	25,360	1	25,360	
5/15宿泊券代	10,600	1	10,600	ホテルグランヴィア和歌山
合計金額			35,960	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			35,960	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
 尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
 お振り込みのお客様で、別途領収書がおり用のお客様は、弊社までご連絡下さい

四国銀行・木屋橋支店・普通・口座番号0669906 太平洋トラベル  
 ゆうちょ銀行 01650-0-55468 太平洋トラベル

# 請求書

2017/5/9

共産党高知市議団 様  
細木 様

高知県知事登録第3-73号

(有) えびす興産

太平洋トラベル

代表取締役

岡本直人



毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
下記の通りご請求申し上げます

780-0074 高知市南金田1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376

ご請求金額 **¥35,960**

ご旅行期間	2017/5/15 ~ 2017/5/16	担当者	[REDACTED]
-------	-----------------------	-----	------------

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
5/15-16JR券代	25,360	1	25,360	
5/15宿泊券代	10,600	1	10,600	ホテルグランヴィア和歌山
合計金額			35,960	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			35,960	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
尚、お振り込みの際には、振込手数料はおお客様ご負担にて、お振り込み願います  
お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

四国銀行・木屋橋支店・普通・口座番号0669906 太平洋トラベル  
ゆうちょ銀行 01650-0-55468 太平洋トラベル

# 請求書

共産党高知市議団 様  
迫 様

毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
下記の通りご請求申し上げます

高知県知事登録第3-73号

(有)えびす興産



太平洋トラベル

代表取締役 岡本直人

780-0074 高知市南金田1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376

ご請求金額 **¥36,160**

ご旅行期間	2017/5/15	～	2017/5/16	担当者	
-------	-----------	---	-----------	-----	--

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
5/15-16JR券代	25,360	1	25,360	
5/15宿泊券代	10,800	1	10,800	ホテルグランヴィア和歌山
合計金額			36,160	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			36,160	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

参考様式1 視察に係る旅費交通費の記載例（規則様式第8号別紙）

別紙

視察に係る旅費交通費

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
5月15日～ 16日	高知⇄和歌山・ 姫路	JR	JR券代 25,360×3名 宿泊 (ホテルラグイ) 10,600×2名 10,800円×1 名	108,080
5月15日	和歌山駅→和歌 山市役所	和歌山バ ス	230円×3名	690
//	日当		3,000円×3名	9,000
//	土産代	セブソイル ソ高知駅 店	1080円×2	2,160
5月16日	姫路駅→姫路市 役所	神姫バス	170円×3名	510
//	日当		3,000円×3名	9,000
	合計			(129,440)
			129,440-21,360=	108,080

第1  
四半期

129,440円の内、太平洋トラベルに支払いした旅費108,080円以外の  
領収が5月である為、今回の第2四半期は108,080円のみ計上します。  
(残金21,360円は第1四半期にて計上済です。)

# セブン-イレブン

Kiosk 高知駅店  
高知県高知市栄田町2丁目1番10号

電話：088-823-5361 ｼﾞｯ#2

2017年05月15日(月) 07:46 責033

## 領 収 書

日本共産党高知市議団 様

¥2,160-  
(内消費税等 ¥160)

但し上記に領収いたしました

2017年05月15日

本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します

土産代

(お礼金・お返し金) 1000x2

原本は第1四半期へ添付



支 払 証 明 書

支 払 金 額	金 510円也
内 容	JR姫路駅→姫路市役所交通費 170円×3名
支 払 先	神姫バス
支 払 年 月 日	2017年5月16日(火)
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他(下記のとおり)

※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本文雄 様

2017年5月16日

依頼者氏名 細木 良



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年5月16日




会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄



規則様式第6号(第6条関係)

支払証明書

支払金額	690 金 額 510円也 
内 容	JR和歌山駅→和歌山市役所交通費 230円×3名
支 払 先	和歌山バス
支払年月日	2017年5月15日(月)
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他(下記のとおり)
<p>※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。</p>	
<p>上記のとおり支払いましたので証明願います。</p> <p>会 派 名 日本共産党高知市議団</p> <p>代表者氏名 下本文雄 様</p> <p>2017年5月15日</p> <p style="text-align: right;">依頼者氏名 細木 良 </p>	
<p>上記のとおり支払ったことを証明します。</p> <p>2017年5月15日</p> <p style="text-align: right;">会 派 名 日本共産党高知市議団</p> <p style="text-align: right;">代表者氏名 下本 文雄 </p>	

原本は第1四半期へ添付

# 旅 費 明 細 書

月 日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄道賃			航空賃	車賃		日 当	宿泊料		食卓料	計
					営業 換算	運賃	急 行料		定額	実費額		日 数	夜 数		
5	15	岡山	和歌山 (13:16)	和歌山市	435.7	7,280	5,520				1	1	14,800		30,600
	16	姫路市役所前 岡山	高知 (10:14)		167.8	2,590	2,210		170						4,970
					267.9	5,010	2,680		170		1		4,500		12,360
支 度 料															
旅行雑費															
合 計					871.4	14,880	10,410	0	340	0	2	1	14,800	0	47,930

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。

※ 5/15新大阪～和歌山間及び5/16和歌山～新大阪間は片道100km未満区間であるが、特定路線にあたるため、特別急行列車(自由席)を利用する。

※ 5/16新大阪～姫路間は片道100km未満区間であるが、用務開始時刻に間に合わなくなるため、新幹線(自由席)を利用する。

※ 5/16は帰着時刻が21時を超えるため半日当加算する。

原本は第1四半期へ添付

規則様式第8号(第6条関係)

行政視察報告書

報告者氏名(視察代表者) 細木 良



1 視察者氏名

岡田泰司	迫哲郎	細木良	

2 視察期間 2017年5月15日 ~2017年5月16日

3 視察先, 視察事項, 選定理由, 視察結果等

視察日 視察先	視察事項及び 選定理由	視察結果 (参考となった事項, 考察)
5月15日(月) 和歌山市	リノベーションスク ール、官民協働の水辺 を活かしたまちづくり	*別紙報告書参照
5月16日(火) 姫路市	播磨圏域連携中枢都 市圏ビジョン、姫路城 を活かしたまちづくり	*別紙報告書参照
月 日( )		
月 日( )		

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

※ 主要な関係資料の写しを添付してください。

原本は第1四半期へ添付

日時：2017年5月15日（月）16日（火）

参加：岡田、迫、細木

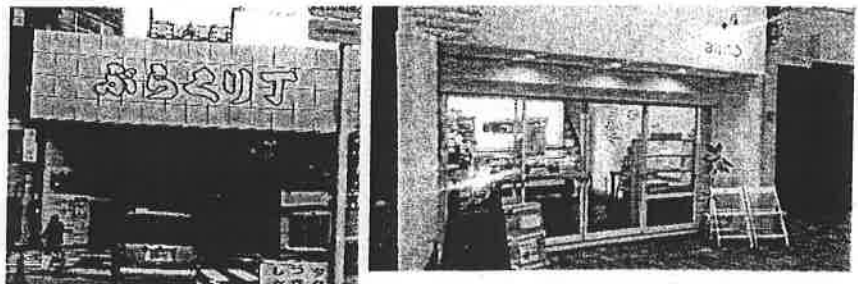
＜和歌山市＞15日（月）14:00～17:00（16:00～17:00は現地視察による説明をしていただきました）

### 1) 市主催「リノベーションスクール」の取組み

和歌山市では人口減少に伴い、まちの衰退が著しく、中心的な商店街「ぶらくり丁」（写真左）でも空き店舗が増加し、いわゆる“シャッター通り商店街”となっていた。H19年から24年まで認定中心市街地活性化基本計画に基づき59の事業を実施したが活性化にはつながらず、現在は認定を受けていない。

そこでH25年から、空き店舗や空き地などの遊休不動産を活用する民間主導の公民連携によるリノベーション（リノベーションとは建物を改修、または使い方を変更し新たな価値を生み出すこと）まちづくりに取り組み、都市型産業の集積、雇用の創出、コミュニティ活性化の成果が生まれている。

写真右の洋菓子店は、もとはぼろぼろの空き店舗だったものを市の主催するリノベーションスクール（H25年からこれまで5回開催150名が受講）を受講した若い方がセルフリノベーションにより改装、地元の農産物を使ったパンやケーキが好評のようです。



こうした店舗が商店街の中いくつか生まれ、波及的に空き店舗が埋まり、地価も上昇傾向であるとの事、また空き地を活用したイベントなども開催され活気がうまれはじめています。

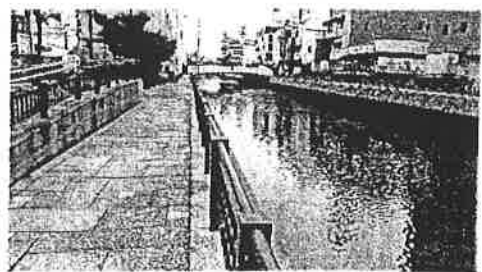
（生かすべきポイント）

本市における中心市街地活性化計画の効果検証、リノベーションスクール開講、オーナーと借りたい人との橋渡しの役割を果たす「家守」会社の設立など。空き店舗を期間限定で試験的に出店できる「マチドリ」制度にも注目したい。

### 2) 官民協働の水辺（市堀川）をいかしたまちづくり

和歌山市も高知市とおなじ城下町ですが、和歌山市では、和歌山市駅とまちなかの商店街をつなぐ「市堀川」に注目し、河川敷地占用許可緩和などの条件を活かし、今あるインフラ＝“水辺”を活かした官民協働のまちづくりをすすめています。

水辺を使った「まちなか河岸」、マーケット&カヌー体験などの楽しい企画が好評で、大勢の市民が楽しんでいるとのことでした。写真右では左側にある和歌山市営の駐車場を今後撤去し、イベントも可能な親水公園として整備することが決まっているようです。



（生かすべきポイント）

今あるもの＝水辺を“人づくり”とあわせ活かし、水辺の魅力を再発見し、楽しいまちづくりを進める和歌山の取り組みは非常に参考となりました。また河川敷地占用許可準則の緩和により、飲食店やオープンカフェ、広告板、照明音響施設、バーベキュー等が設置可能となっており、水辺活用の条件を生かすことも大切。

本市では県道一宮・はりまや線拡幅工事など、新堀川にふたをして道路をつくる計画が進められているが、なんとももったいないことであり、時代遅れと言えるのではないかと。

<姫路市>16日(火) 10:30~16:00

### 1) 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンについて

H25年「中枢拠点都市研究会」を立ち上げ、H27年2月連携中枢都市宣言、同年4月7市8町からなる連携協約を締結、同年12月赤穂市が加わり8市8町となった。圏域の将来像は「経済活性化」「魅力向上」「安心快適」であり、①圏域全体の生活関連機能サービスの向上(社会施設・図書館相互利用促進、広域防災、公共交通ネットワークの維持、移住定住など)②高次の都市機能の集積・強化(JR姫路駅の整備とネットワークづくり、広域的な救急医療体制の充実など)③圏域全体の経済成長の牽引(企業誘致、最先端技術の活用、地場産品販路拡大、観光振興など)の3つの柱で取組みを進めています。

(生かすべきポイント)

姫路市は国から4億円の事業費を受け、多くの事業を行っていますが市の事業化総額は10億円以上の事。県が行うべき施策と中心市が行うべき施策との調整が難しいと担当者が話されていました。

今年度内に高知県の全部の市町村と本市が中心都市となって連携中枢都市圏の連携締結を目指していますが、事務量の増大、全国でも例のない広域連携のため、多くの困難が予想されます。国は道州制を見込んでのステルス(隠れた)合併として連携中枢都市圏の施策を行っているとの専門家の指摘があり、今後の取組みに注意する必要があると感じました。

### 2) 世界文化遺産・姫路城を活かしたまちづくり

姫路市は都市景観形成基本計画や姫路城周辺地区景観ガイドプラン、ひめじ城下町再生プランなど、93年に日本初の世界遺産登録となった姫路城を活かすまちづくりが進められています。城周辺の建物の高さ、看板、色彩規制など眺望も大切にしており、風格とにぎわいをめざすまちづくりは高い文化性を感じました。

また姫路駅北駅前広場は、「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」というコンセプトの下、市民フォーラムや専門家もまじえた公開ワークショップなどを何度も開催し、市民の声を反映した計画づくりを徹底し「地域づくりデザイン賞」を受賞するなどその取り組みが高く評価されています。



(左) 姫路駅からまっすぐ姫路城を望む「キャッスルビュー」の眺め(中) 駅前大通りは車線を減らし歩行者優先のトランジットモールに。平日でしたが多くの観光客が訪れていました(右) 駅前広場は堀をイメージした水辺と芝生の空間が好評で当日も音楽イベントが行われていました。

(生かすべきポイント)

本市では行政が率先して高知城周辺に高層建築物(県庁、市役所、県警、新図書館など)を建てている現状であり、さらに新図書館西敷地活用では高度利用を検討するなど姫路市と正反対のまちづくりが行われています。

高知城も国宝を目指す運動が民間で立ち上がっていますが、高知城を大切にしたいまちづくりを今後どうすすめていくか、愛着の湧く文化性の高い潤いのあるまちづくりを実現するため、姫路市のような市民参画を徹底することが大切です。

和歌山市、姫路市 2017年5月15日～16日

## 和歌山市 リノベーションによるまちづくり

既存の建物を改修または利用方法を変えて活用する

中活計画（平成19～24年）二期計画は策定せず⇒リノベーション計画に

・中活…事業は完了したが、周辺への波及効果が少ないなど、当初期待していた効果が出ていない  
現代版「家守(やもり)」=民間自立型のまちづくり会社のリノベーション投資⇒事業オーナーが運営

①リノベーションスクール 3日間で不動産オーナーに提案 一般2万円、学生1万円

平成26年からこれまで5回開催、150人が受講。5つの家守会社が設立された。

②リノベーション推進指針の策定 平成29年3月

## 中心市街地活性化計画からの方向転換 今あるものを魅力的に再活用するまちづくりへ

高知市は、計画期間が来年3月までの「中心市街地活性化計画（中活計画）」を、二期計画をつくって継続することとし、この中で、新図書館西側の「にぎわい広場」計画を、民間への長期借地によるビル建設へ変更しようとしています。

視察をしてきた和歌山市は、国の補助金だのみの中活計画は、「波及効果が少ない」と総括し、二期計画作りを中止。今あるものの魅力を引き出すリノベーション=再活用によるまちづくりをすすめています。

和歌山市の中心は、和歌山城。歴史的には、紀州55万石の中心でした。現在も、内堀・外堀の多くが残っています。この、堀の水辺を活かしたまちづくりができないか、職員からの提案で生まれたのが、「リノベーションによるまちづくり」です。

高知市の西敷地活用策のように市長のトップダウンではなく、職員が政策を提案する制度ができているとのこと。説明してくれた市の職員が、「やらされている」のではなく、ウキウキと、面白がって仕事をしていました。

和歌山市のアーケード街は、「ぶらくり丁」といいます。戦後の「やみ市」から出発した商店街で、商品をぶら下げて陳列していたことから名前だそうです。しかし、中活計画で、13階建ての商業施設付きの集合住宅などを造ってみたものの、人口流出に歯止めをかけられず、計画策定時より中心街の定住人口は減少。商店街もシャッター街となってしまいました。大手建設業の計画だのみとなる中活計画では、地元の内発的動きにつながりませんでした。

そこで、和歌山市は、今あるものを活かす「リノベーション・スクール」で、若者を中心に担い手を育てることからはじめました。スクールの修了生が、ぶらくり丁の空き店舗を今風に改修し、若者が集うカフェやレストランがオープンさせると、その後は勝手に空き店舗がうまっていったそうです。

高知の「土佐のおきゃく」のような、アーケード内をリビング化し



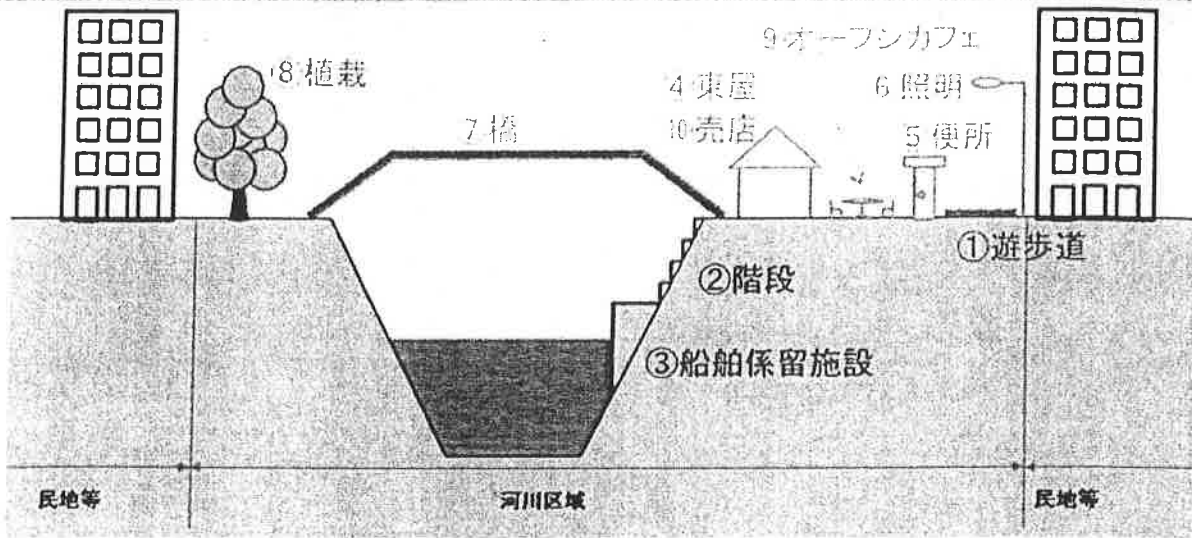
和歌山城の外堀、市堀川の川べりの遊歩道。左側にある市営の駐車場を廃止し、空間を拡張する計画だという…。

たイベントも定着してきたとのことです。

今取り組んでいるのは、堀川を活かしたまちづくり。

河川敷占用の緩和で… 今後、河川敷のオープンカフェやイベントによる経済効果や住民合意を検証していくとのことです。

## 各種事業で河川区域内に設置可能な施設

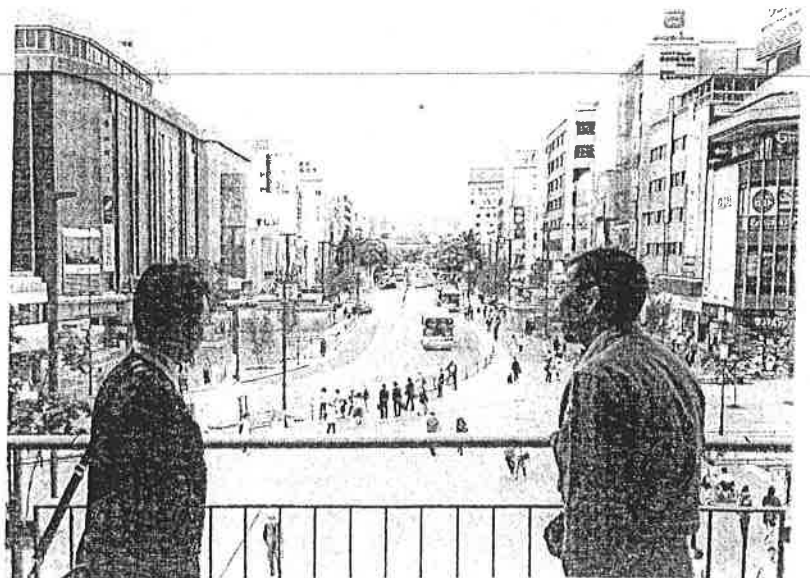


必要最低限の基盤施設	1. 河川事業	: ①②③、その他治水・河川利用上必要なもの
	2. 都市水環境整備事業	: ①②③、その他治水・河川利用上必要なもの
あったら便利な利用施設	3. 道路事業	: ① ⑥⑦⑧
	4. 都市公園等事業	: ①②③④⑤⑥⑦⑧
	5. 自治体単独事業	: ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
	6. 民間事業	: ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

1. から4. 等については「社会資本整備総合交付金」の事業メニューから適切な事業を選択して実施する。

姫路市で、お城を活かしたまちづくりについて

JR姫路駅から姫路城間は、1.4キロの直線道路。バス専用レーンを含めて片側4車線だったこの道を、一般車両を迂回させる交通規制をかけ、片側1車線に。広々とした歩道と、自由なイベント空間が広がっていました。私たちが行ったときには、駅前の広い歩道で「国境なき医師団」のキャンペーンが行なわれ、もう一方の広場では、一日＝1800円で借りられるステージで、野外コンサートが行なわれていました。芝生の養生が大変難しいことも、参考になりました。



写真の奥に、真っ白く姫路城が見えます。



平成 29 年 4 月 24 日

会派代表者  
下本 文雄 様

議員名 細木 良

迫 哲郎

岡田 泰司

### 行政調査許可願

行政調査を下記のとおり決定したので、許可願います。

行先、調査日時 及び 調査事項	和歌山県和歌山市 平成 29 年 5 月 15 日 (月) 14:00~16:00 ○市堀川の水辺をいかした官民協働のまちづくりについて ・「水辺座」、和歌山市主催「リノベーションスクール」の取り組みと市の位置付け				
	兵庫県姫路市 平成 29 年 5 月 16 日 (火) 10:30~16:00 ○播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンについて ・連携協約締結までの経過 ・連携協約であげられた各市町村の具体的取り組みと姫路市の役割 ・医療、公共交通、防災など広域連携の構築 ・公共施設の共同利用や統廃合など公共施設マネジメントの取り組み ○世界文化遺産・姫路城を活かしたまちづくり ・現在に至るまでの北駅前広場整備内容と市民参画 (150 回のワークショップ) ※座学後、姫路駅周辺の現地視察を希望します。 ・広場と姫路城をつなぐ公共交通計画「ヒメジットモール」(トランジットモール) ・姫路城周辺地区景観ガイドライン				
経 費	¥ 143,790 (47,930×3名)				
行 程					
月	日	出発地	経 由 地	到着地	宿泊地
5	15	高知駅 (出発)	(JR) 岡山 (JR) 和歌山 (視察)	(泊)	
	16	和歌山 (JR) 姫路市 (視察)	(JR) 高知駅 (帰着)		

注 1. 変更は、変更後のものを、取消は、氏名欄へ取消者の氏名を記載してください。

2. カッコ内は利用交通機関をお書きください。

様式第7号 (第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名： 日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	2017年7月11日(火)～13日(木)	
	支出先	太平洋トラベル他	
	目的・内容 ・結果等	仙台市・釜石市・南相馬市市行政視察 (参加：迫哲郎、細木良)  ※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。	
支出金額等	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費	交通宿泊、日当、土産代	270,772
	研修費		
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
			合計
		領収証書及び支払証明書添付枚数	6 枚
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

参考様式1 視察に係る旅費交通費の記載例（規則様式第8号別紙）

別紙

視察に係る旅費交通費

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
7月11日・ 13日	市役所⇄空港	空港連絡 バス	往復 1,340円×2名	2,680
〃	高知⇒大阪⇒仙 台	飛行機	40,300円×2名	80,600
〃	仙台空港⇒仙台 駅	仙台アクセス 鉄道	650円×2名	1,300
〃	仙台駅⇒仙台市 役所前	路線バス	100円×2名	200
11日～12 日	仙台駅⇒釜石駅 ⇒原ノ町駅	JR	17,300円×2名	34,600
11日	ホテルルートイ ン釜石		7,600円×2名	15,200
7月12日	ホテル扇屋		7,140円×2名	14,280
13日	原ノ町駅⇒東京	JR	12,280円×2名	24,560
〃	浜松町⇒羽田空 港	エール	490円×2名	980
〃	羽田⇒高知	飛行機	37,890円×2名	75,780
11日～13 日	日当		3000円×3日×2名	18,000
〃	お土産	仙台・釜 石・南相 馬の3市	864円×3	2,592
	合計			270,772

※ 支出を伴わない移動（徒歩，相手方による送迎等）は記載不要。

※ 旅費は，高知市役所を出発地として計算。

領収証

日本共産党高知市議団  
細木 様

No. 0014598

金額			百		千		円
			7	1	5	3	70

但し 7/11~13 船着者 5F券・宿泊券1枚に  
29年 7月 19日 上記正に領収いたしました



内訳  
 税抜金額  
 消費税額等 (%)

高知県知事登録第3-73号  
 (有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
 代表取締役 岡本 直人  
 〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
 TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376



領収証

日本共産党高知市議団  
細木 様

No. 0014599

金額			百		千		円
			7	1	5	3	70

但し 7/11~13 船着者 5F券・宿泊券1枚に  
29年 7月 19日 上記正に領収いたしました



内訳  
 税抜金額  
 消費税額等 (%)

高知県知事登録第3-73号  
 (有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
 代表取締役 岡本 直人  
 〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
 TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376



領 収 書

(RECEIPT)

野馬追の里 はらのまち

ホテル 扇



領 収 書

(RECEIPT)

野馬追の里 はらのまち

ホテル 扇



2900114

発行日付  
DATE: 2017.07.12

〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町1-77  
TEL 0244 (23) 4 1 4 7  
FAX 0244 (2-3) 4 3 6 0

顧客名 (NAME)

収 入

印 紙

日本共産党高知市議団様

御 利 用 額  
TOTAL AMOUNT

¥7,140

(内消費税 528)

明 細 書

客室番号 (ROOM No.)	人数 (PERSONS)	泊数 (NTS)	伝票番号 (No.)
406		1	2900114

日付 DATE	科目名称 DESCRIPTION	数量 QTY	単価 PRICE	消費税 TAX	合計金額 AMOUNT
07/12	宿泊	1	5,741	459	6,200
	朝食	1	871	69	940
	合計				7,140

御芳名 (NAME)

収入  
印紙

日本共産党高知市議団様

御利用額  
TOTAL AMOUNT  
¥7,140

(内消費税 528)

明細書

客室番号 (ROOM No.)	人数 (PERSONS)	泊数 (NTS)	伝票番号 (No.)
405		1	2900113

日付 DATE	科目名称 DESCRIPTION	数量 QTY	単価 PRICE	消費税 TAX	合計金額 AMOUNT
07/12	宿泊	1	5,741	459	6,200
	朝食	1	871	69	940
	合計				7,140

規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金 2, 5 9 2 円 也
内 容	視察自治体への土産代(3ヶ所への菓子代)
支 払 先	浜幸
支払年月日	2017年7月9日(日)
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input checked="" type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他(下記のとおり)  但し書きがないため  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本文雄 様

2017年7月9日

依頼者氏名 細木 良



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年7月9日

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本文雄



領 収 証

日本共産党

高知市議団様

29年7月9日

★ 羊 2,592 -

但

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

高知市はりまや町1丁目

株式会社 浜

電話(088)875



お土産 3個

仙台市

釜石市

南相馬市へ

小計	¥2,808
うち消費税等	¥208
お買上点数	5点

合計	¥2,808
お預り	¥5,000
お釣り	¥2,192

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 ☆ いつもありがとうございます。 ☆  
 ☆ またのお越しをお待ちしております。 ☆  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆





# 旅 費 明 細 書

月 日	出発地	経 路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃			船 賃	航空賃	車 賃		日 当		食卓料	計
					営業 換算	運賃	急 行料			定額	実費額	日 数	定額		
7	11	高知駅前 (6:45)	伊丹空港 仙台空港 (11:39)	県庁市役所前 釜石 (19:36)		17.5	650								42,390
					232	4,430	3,110			100	1	3,000	1	13,300	23,940
12				南相馬市											
					306.4	5,400	3,320				1	3,000	1	13,300	25,020
13															
					447.5	7,430	5,050		37,890		1	3,000			53,370
															0
															0
															0
	支 度 料														
	旅行雑費														
				合 計	1,003.4	17,910	11,480	0	78,190	0	3	9,000	2	26,600	144,720

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。

- ※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。
- ※ 7/13宿泊先～南相馬市役所～原ノ町駅間の移動は南相馬市議会議事事務局の車両送迎あり。
- ※ 7/13航空賃については割引適用期間外のため、正規運賃とする。

(支給額) 円

# 請求書

2017/7/7

日本共産党高知市議団 様  
 迫様

高知県知事登録第3-73号  
 (有) えびす興産



太平洋トラベル

代表取締役 岡本直人

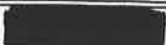
毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
 下記の通りご請求申し上げます

780-0074 高知市南金田1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376

ご請求金額 **¥115,370**

ご旅行期間	2017/7/11	~	2017/7/13	担当者	
-------	-----------	---	-----------	-----	---

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
07/11航空券代	40,300	1	40,300	ANA1600・733
07/11-12JR券代	17,300	1	17,300	仙台-釜石・釜石-原ノ町
07/11宿泊券代	7,600	1	7,600	ホテルルートイン釜石
07/13航空券代	37,890	1	37,890	ANA569
07/13JR券代	12,280	1	12,280	原ノ町-東京
合計金額			115,370	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			115,370	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
 尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
 お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

四国銀行・木屋橋支店・普通・口座番号0669906 太平洋トラベル  
 ゆうちょ銀行 01650-0-55468 太平洋トラベル

# 請求書

2017/7/7

日本共産党高知市議団 様  
細木様

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産



太平洋トラベル

代表取締役 岡本直人

780-0074 高知市南金田1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376

毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
下記の通りご請求申し上げます

ご請求金額 ￥115,370

ご旅行期間	2017/7/11 ~ 2017/7/13	担当者	
-------	-----------------------	-----	--

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
07/11航空券代	40,300	1	40,300	ANA1600・733
07/11-12JR券代	17,300	1	17,300	仙台-釜石-釜石-原ノ町
07/11宿泊券代	7,600	1	7,600	ホテルルートイン釜石
07/13航空券代	37,890	1	37,890	ANA569
07/13JR券代	12,280	1	12,280	原ノ町-東京
合計金額			115,370	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			115,370	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

平成 29 年 6 月 30 日

会派代表者  
下本 文雄 様

議員名 迫 哲郎  細木 良   
 

### 行政調査許可願

行政調査を下記のとおり決定したので、許可願います。

行先, 調査日時 及び 調査事項	平成 29 年 7 月 11 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 00 宮城県仙台市 平成 29 年 7 月 12 日 (水) 9 : 30 ~ 12 : 00 岩手県釜石市 平成 29 年 7 月 13 日 (木) 9 : 30 ~ 12 : 00 福島県南相馬市 ・ 震災後の上下水道事業の復旧の取組みの全体像				
経 費	¥ 144,720 × 2 人				
行 程					
月	日	出発地	経 由 地	到着地	宿泊地
7	11	高 知	(飛行機等) 伊丹空港 (鉄道等) 仙台市 (用務)	(鉄道等) 釜石市	(宿泊)
	12	釜石市 (用務・鉄道等)	南相馬市 (宿泊)		
	13	南相馬市 (用務・鉄道等)	羽田空港 (飛行機等)	高 知	

行政視察報告書

報告者氏名(視察代表者) 迫 哲郎



1 視察者氏名

迫 哲郎	細木 良		

2 視察期間 2017年7月11日 ~7月13日

3 視察先, 視察事項, 選定理由, 視察結果等

視 察 日 視 察 先	視 察 事 項 及 び 選 定 理 由	視 察 結 果 (参考となった事項, 考察)
7月11日(火)  仙台市	仙台市の上下水道事業(水道局、建設局・下水道事業部、下水道経営部)、震災復旧への取り組みから、高知市の取り組むべき課題について参考にするため。	水道は、津波地域はすべての施設が被災したとみなす特例とその他14億円の被害、下水道は、700億円を超える被害が査定され、国の復興交付金が8~10割適用され早期の復旧につながっていた。 その過程での応急復旧や震災時の経験を生かした非常用給水の見直し、復旧に際しての創エネの導入などの取り組みが参考になった。
7月12日(水)  釜石市	釜石市の水道事業所および、建設部下水道課に、震災復旧のとりくみを学び、高知市での南海地震対策と被災後のとりくみについて学ぶため。	水道事業では、現況復旧が原則ではあるが、モデル事業として「鶴住居地区の水道施設」のダウンサイジングによる新設が計画されている。また、下水道事業では、沿岸部にあった漁業集落排水事業を大幅に廃止し、浄化槽地域へ転換すると同時に、山間部の農業集落排水事業の処理場を廃止、下流域の処理施設に統合、将来的には、高台の団地下水道の処理場も廃止し、市中心部のメインの処理場へ統合するなど、将来の人口減少にともなうダウンサイジングの計画があり、今後の高知市の取り組みの参考になった。
7月13日(木)  南相馬市	南相馬市の上下水道部水道課・下水道課に、震災と原発事故後の取り組みを聞き、様々な復興交付金の活用など、高知市の震災後の上下水道等の復旧・復興の参考にするため。	南相馬市では、原発事故による人口減少という特別の要因もあるが、国の交付金を積極的に活用したダウンサイジング等の取り組みをしていた。その中には、不用となる土中の管処分や災害公営住宅の整備に伴い、人口急増地域での処理施設の規模拡大など、現況復旧以外にも国の交付金事業が行われていた。また、マンホールポンプによる圧送による農集を公共へ統合、迅速な復旧のための道路舗装の簡易化なども参考になった。

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

※ 主要な関係資料の写しを添付してください。

視察に係る旅費交通費の内訳は、別紙のとおり。

# 旅 費 明 細 書

月 日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄道賃			船賃	航空賃	車賃		日当	宿泊料		食卓料	計	
					営業 換算	運賃	急 行料			定額	実費額		日 数	夜 数			定額
7	11	高知駅前 (6:45)	伊丹空港 仙台空港	県庁市役所前 (11:39)		17.5	650									42,390	
		県庁市役所前 (16:21)		釜石 (19:36)	釜石市	232	4,430	3,110			100	1	3,000	1	13,300		23,940
	12	釜石 (14:18)		原ノ町 (19:16)	南相馬市	306.4	5,400	3,320								25,020	
	13	原ノ町 (13:48)	羽田空港	高知駅前 (20:50)		447.5	7,430	5,050				1	3,000			53,370	
																0	
																0	
																0	
	支度料															0	
	旅行雑費				合 計	1,003.4	17,910	11,480	0	78,190	0	3	9,000	2	26,600	0	144,720

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。

- ※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。
- ※ 7/13宿泊先～南相馬市役所～原ノ町駅間の移動は南相馬市議会議事事務局の車両送迎あり。
- ※ 7/13航空賃については割引適用期間外のため、正規運賃とする。

(支給額) 円

平成29年7月11日

## 水道事業概要と災害対策について

仙台市水道局 給水部 計画課

1

### 本日の内容

1. 水道事業概要
2. ブロック配水システムと  
監視システムについて
3. 水道の被害について  
(東日本大震災での水道被害)
4. 応急給水について
5. 水の備蓄について

2

釜石公共下水道

東日本大震災

復旧と復興

平成29年7月12日

釜石市建設部下水道課

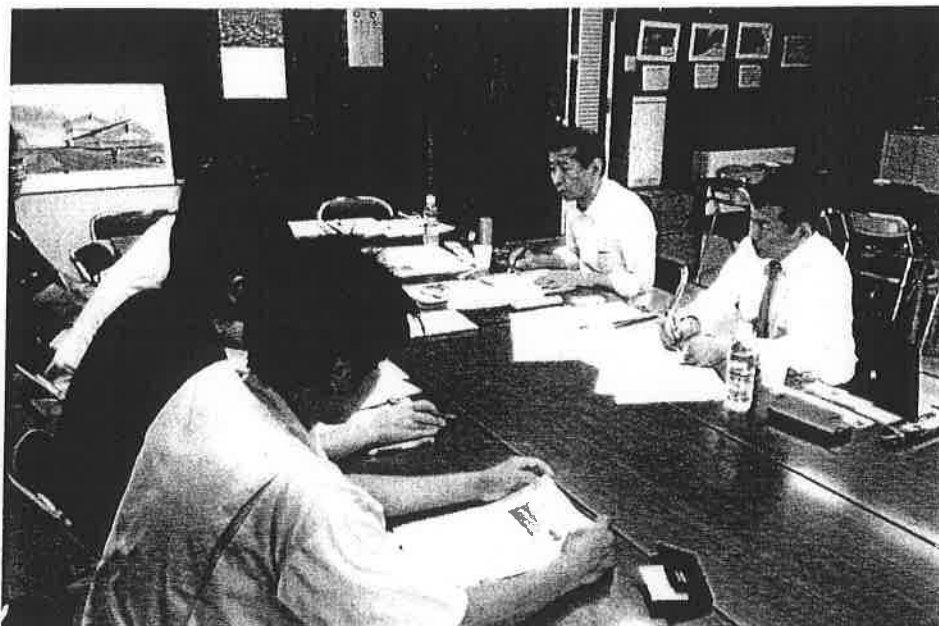


# 高知市議会行政視察資料

(平成 29 年 7 月 13 日)

---

南相馬市 (水道課)



どこでも、丁寧な資料を準備して、私たちの視察を受け入れてくださいました。  
写真は、釜石市の下水道処理場で説明を受ける、細木良市議とさこ哲郎市議。

#### 事前をお願いしていた視察項目

##### 1. 震災後の上下水道事業の復旧のとりくみの全体像

- ・上下水道事業の会計について 公営企業会計
- ・「経営比較分析表」による現状分析について…震災前後の課題等の分析の変化
- ・今後の「経営戦略」などの計画の概要
- ・大規模災害時の国庫補助と実際の復旧工事等の関係
- ・水道事業については、民間的経営手法の導入について検討されていることがあれば

##### 2. 復旧・整備にあたり、コスト負担低減をどのように取り組んだのか

##### 3. 今後の人口・需要減少をふまえたダウンサイジングのとりくみ

- ・復旧・整備の投資計画と投資の平準化（下水道…10年既成論への対応との関係）

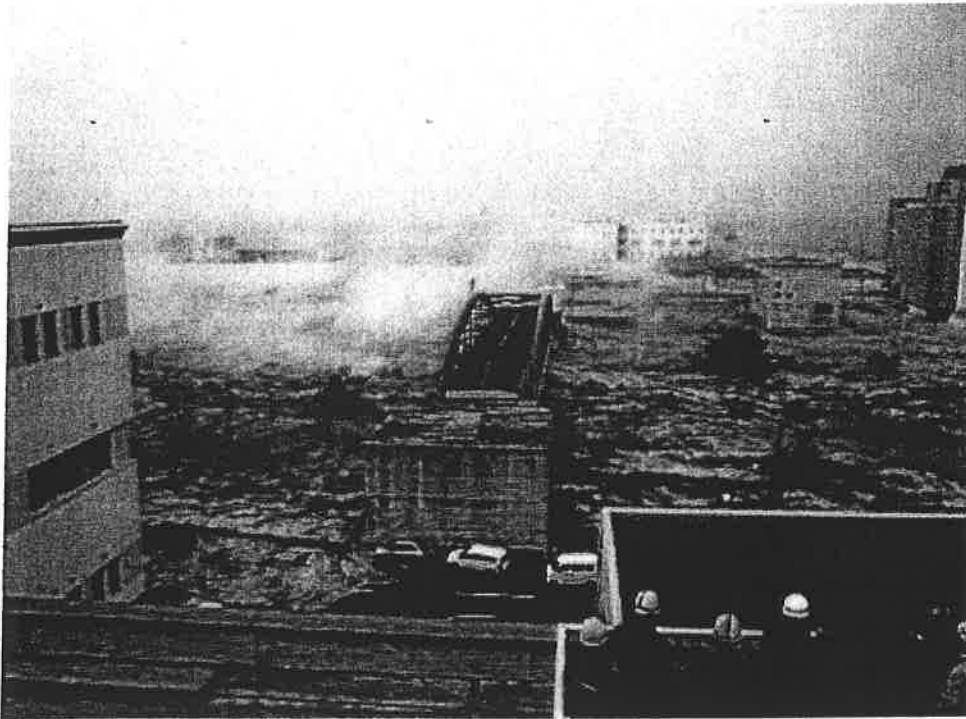
##### 4. 料金体系について

水道…従量料金、資産維持費など、少量使用者の基本料金、地下水併用者の基本料金  
下水道…料金値上げ、受益者負担金

震災後、上下水道局はどう対応したか

飲料水とトイレの確保、応急復旧から本格復旧・復興へ

施設は壊れても、生活は継続させなければならない



津波に襲われる仙台市沿岸部の浄水センター

近い将来、南海トラフ巨大地震が想定される高知市。世界でもでも最大規模の津波と地盤沈降が予測されています。震災後のライフラインとして重要な水道と下水道について、東日本大震災の被災地に視察に行ってきました。

仙台市では、沿岸部に近い南蒲生浄化センターが津波にさらわれ機器類は全損。下水機能がマヒしました。内陸部でも、強い揺れによって、巨大な送水管の継ぎ手はずれ、水道がストップしました。

高知市でも、耐震継ぎ手への取替えや、巨大な管による迂回管に100億円以上かけて工事がすすめられています。何箇所かは破断することを覚悟した対策も必要です。

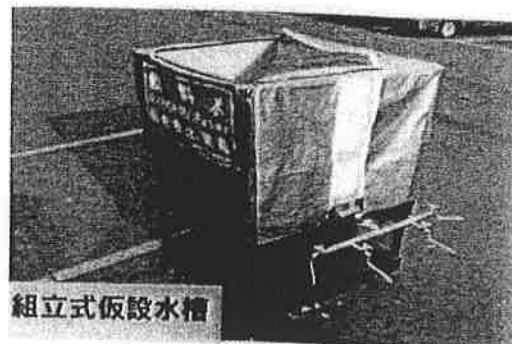
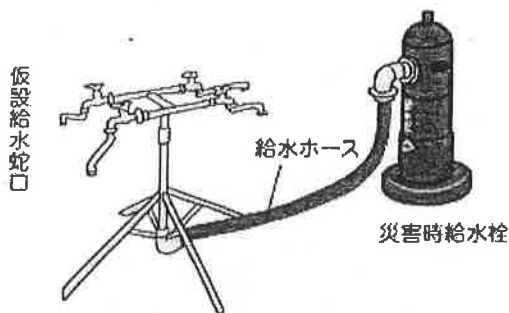


強い揺れで耐震継ぎ手が離脱した、  
直径2メートル強の巨大送水管

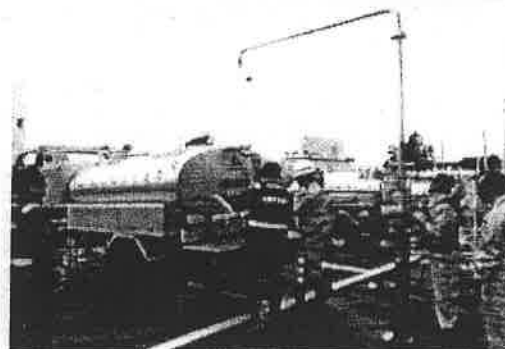
まず、給水車そして応急復旧

震災に備えて、やるべきこととして、「地震後の市民の暮らしをどうするのかを考えることが大事」と、南相馬市の担当者は強調しました。市の施設の耐震化はできても、多くの市民に被害がでる。そのことを事前にもっと認識して準備しておくことが大事だと。

仙台市の担当者は、給水車で飲料水を届ける際に非効率だったと反省し、被災後は、地中に埋める巨大な非常用貯水槽ではなく、給水栓を町中に設置するようにした。



給水車は、仮設の受水槽に給水してまわり、そこから住民が水をもらうようにする。その給水車へは、高い位置から、少人数でも給水できるよう、給水栓を改良していました。



また、どの自治体も、応急復旧をすばやく実施するという点で努力されていました。

本来、上下水道の管は、地中に埋設しますが、道路に沿って、露出管を多用して可能な限り早く水道管をつなげる手法は各地で行なわれていました。

下水についても、被害の少ない内陸部の住民には、被害を受けた沿岸部の復旧まで下水道が利用できないことを周知徹底すると同時に、処理場が使えなくても、簡易浄化をして少しでも早くトイレや生活排水を流せるようにと努力していました。

こうした、震災後のとりくみを住民の暮らし第一で、今から考えておく必要性を痛感しました。

国の震災後復旧の支援は…？

現形復旧にとどまらない国の支援受けて

被災地の上下水道事業の視察に行った理由の一つは、被災前の備えと被災後の復旧をどう捉えたらいいのかという問題意識があったからです。

高知市では、南海地震に備えて、向こう5年間で、水道事業で、約250億円、下水道事業で約230億円という巨額の事業を行います。この額は、1年で80～90億円、通常の維持管理

経費の倍額以上になります。これらの震災対策事業には、国からの特別の補助金はありません。

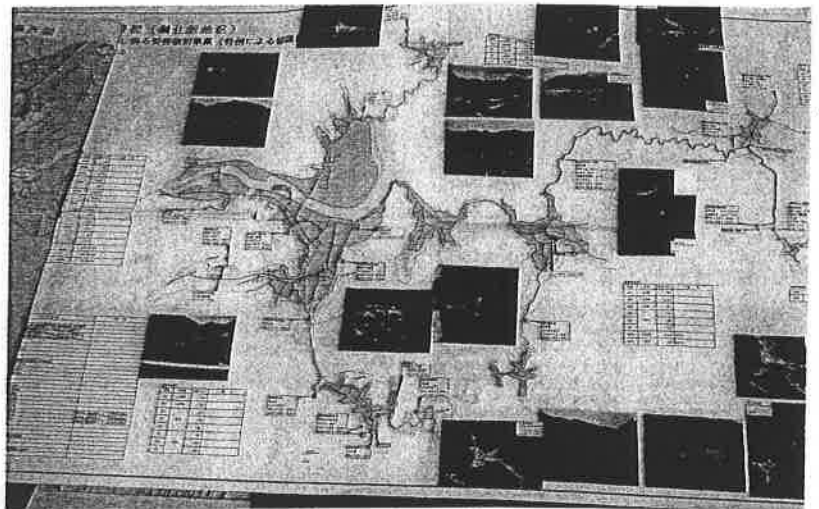
そのため、これらの巨額の投資が、今後の料金値上の大きな理由になっています。

東日本の震災では、想定を超える津波で、仙台市では市内の約7割の下水を処理していた南蒲生の処理センターが全壊、復旧まで5年かかるため、段階的に処理水の水質向上をはかっていました。おおむね、海岸近くにある下水処理施設は、釜石、南相馬でも大きな被害を受けていました。

国による災害復旧は、原形復旧が原則となっています。しかし、東日本の震災では、原発事故により人が住めない地域が生まれたことや、高台移転で町全体の位置が変わるなど原則どおりではない課題が多数あり、国も一定柔軟に対応したことがわかりました。

釜石の奇跡として児童生徒のほぼ全員が助かった鶴住居（うのすまい）地区。学校も住民も高台移転が進んでいました。この地域には、もともと2箇所に水道の給水施設がありました。が、住居等の高台化にともない、さらに高い場所1ヶ所に新たな給水施設をつくり、地域全体に自然流下で水道水を供給する計画となっていました。給水人口は、約5000人と規模は小さいですが、建設費は、約4億円で、将来の維持管理費を含めると約1億円の経費の節約になるといいます。

国も、この事業は、原形復旧ではありませんが、震災復旧のモデル事業として補助金を付けるとのこと。

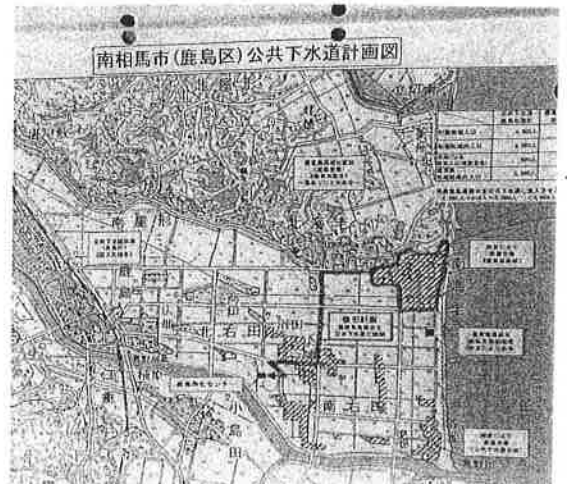


釜石の奇跡で知られる釜石市「鶴住居(うのすまい)」地区。下水道は、周辺の小規模排水処理している排水も取り込み、維持費の軽減をはかるとのことでした。

南相馬市では、原発から遠い鹿島地区に人口が移動しています。

高知市でいえば春野のような農地が広がっていた地域に住宅が一気に広がっていました。この地域は、もともと下水道と農業集落排水事業という二通りの方法で排水処理をしていた地域ですが、震災復旧として排水処理の規模拡大を行っていました。

また、この地域の沿岸部は、処理施設が全壊し、住居が激減したため、残られている方々の排水は、すこし上流にある下水処理施設へポンプで圧送し処理する



方法に変更していました。こうした、原形復旧ではない事業についても、しっかりと国の補助金を受けることができていました。

国の補助金には、原形復旧が基本となる「災害復旧事業」と、これとは別に「復興交付金事業」があります。それぞれ、事業費の9割程度を国が補助する仕組みです。

高知市は、上下水道料金の値上をすれば将来黒字がどんどんたまっていく、もうけ過ぎになるという指摘に対して、震災の復旧にお金がかかるからため込んでおく必要があるといいますが、被災地では、どこも値上せずに運営できているとのことでした。

被災地の復旧復興の現場から、多くのことを学びました。

## 高知市より進んでいる点

### 高知市でもできる市民サービスの充実

#### 低所得者への料金減免制度

仙台市では、低所得者への水道料金と下水道利用料金の減免制度があります。

それぞれの基本料金（水道料は1252円、下水道は1518円）を免除するものです。対象は、世帯全員の県市民税が非課税の世帯です。期間は1年間で、申請が必要ですが、毎年申請することができます。

高知市では、こうした低所得を理由とした減免制度はありません。6月市議会では、水道水は「商品」であり、「サービスの対価」なので減免になじまないという答弁がありましたが、現に実施している先進事例があるので、高知市も聞く耳を持たない姿勢を改め、検討させていく必要があります。

#### 税で負担すべきことは税で

水道事業で、非常用貯水槽の設置や施設や管路の耐震化など災害対策・安全対策については、国の基準が定められ、市民負担（水道料金）ではなく、一定割合を税金で負担することとなっています。

そこで、3つの自治体で、国の負担割合どおりに税で負担しているかどうか確認しました。

いずれの自治体も、震災後の市の財政がひっ迫したときでも、「基準どおり税金で負担している」との答えでした。

高知市は、本来、税金で負担すべきところを、大幅に、市民負担＝水道料金からの負担としてきました。その額、ここ5～6年で20億円にもなります。

水道料金を、本来使ってはならないところに使いながら、「料金収入が不足するので、料金値上が必要」という高知市の理屈は通用しないということを実感しました。

### 新築でも合併浄化槽補助

南相馬市では、新たに合併浄化槽を設置する補助金を、くみとりや単独槽からの切り替えだけでなく、家を新築した場合でも対象としています（近い将来、下水道に接続できる地域はのぞかれます）。

既に、10年の実績があり、切り替えよりも新築での申請が圧倒的に多数となっているとのことです。

家を新築したものの、合併浄化槽を設置し、数年後にまた下水道接続工事をしなければならない地域は広く存在します。この負担を軽減する制度は、高知市にはありませんが、必要な制度だと感じました。

### 浄化槽を自治体が管理

仙台市では、下水道の家庭も、合併浄化槽の家庭も同額の排水処理料金となっています。それは、各家庭に設置されている合併浄化槽そのものを自治体が設置し管理する制度となっているからです。

人口密度などにより、下水道が効率的な地域と、浄化槽が効率的な地域が当然存在します。環境にやさしい排水処理という同じ目的に照らして、市民の負担に差があるべきではないということからきた制度です。

高知市では、現状ではすべての浄化槽を市が管理するのは無理がありますが、将来、下水道の整備が計画区域全体に広がった時点では、検討対象となる課題だと思いました。

以上

規則様式第7号(第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	9月4日(月)	
	支出先	レンタルショップ ジャストタイム	
	目的・内容・結果等	児童の安全確認のための高知南環状線・潮江南小学校前における通行車両速度調査	
※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。			
支出金額等	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費	スピードガンポケットレーダー レンタル代	1,296
	研修費		
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
合計			1,296
領収証書及び支払証明書添付枚数 <u>1</u> 枚			
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。



## 領収書

以下の通り、領収いたしました。

2017年09月04日

日本共産党高知市議団 様

金額 ￥1,296

代

レンタル代

印  
紙  
欄

品番	機番	数量	貸出日	金額
品名			返却予定日	
2227		1	2017/09/04	1,200
スピードガン ポケットレーダー PR1000			2017/09/05	
合計金額			レンタル計	1,200
			消費税	96
			合計	1,296
精算金額			ご入金	1,296
			お釣り	0
			未収金	0

レンタル  
ショップ

*Just Time*

係員: 

〒781-8122 高知市高須新町2-1-31  
TEL (088)883-3131(代) / FAX (088)883-3133  
<http://www.justtime.jp>  
e-mail:info@justtime.jp

伝票No 586141

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	2017年7月18日（火）～ 7月20日（木）	
	支出先	別紙明細書・領収書の通り	
	目的・内容・結果等	参加者 下本文雄、岡田泰司、下元博司 第14回地方議員交流研修会（北海道自治労会館）  （別紙報告書）  ※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。	
支出金額等	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額（円）
	調査研究費		
	研修費	参加費15000円 × <del>2</del> 1 旅費、日当	112,280円
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
		合計	112,280円
		領収証書及び支払証明書添付枚数	3 枚
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

## 別紙

## 視察に係る旅費交通費

年月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金額 (円)
7月18日	～高知空港	空港バス	1,340円 (往復分)	1,340円
	高知～羽田空港 羽田空港～ 札幌千歳空港	空港便	(別紙請求書) JAL (マイステイ札幌) 往復航空券+宿泊2日セット	84,800円
	千歳空港～ 札幌	JR	1,070円 北海道自治労会館へ	1,070円
18・19	ホテル京阪札幌	2泊	(別紙請求書どおり)	
20日	札幌～千歳空港	JR	1,070円	1,070円
	札幌千歳空港～ 羽田空港～高知 空港		(別紙請求書どおり)	
		日当	3000×3日	9,000円
		参加費	15,000円	15,000円
合 計				112,280円

※ 支出を伴わない移動（徒歩、相手方による送迎等）は記載不要

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金 3,480円也
内 容	① 別紙旅費交通費分のうち空港バス分 ② J R
支 払 先	J R 千歳空港～札幌 (1,070円) ×2 高知空港バス1,340円 (往復分)
支 払 年 月 日	2017年7月18日 (火) ～20日 (木)
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (下記のとおり) 自動券売機のため 振替払込金受領証のため  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄様

2017年 8月 4日

依頼者氏名 下本 文雄



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年 8月 4日

会 派 名

代表者氏名 下本 文雄



領収証

日本共産党高知市議員 岡本 様

No. 0014701

金額			百	千	円
			4	8	00

但し 7/18~20. 2/127/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20  
 29年 7月 19日 上記正に領収いたしました



内訳  
 振  
 消費税額等  
 ( %)

高知県知事登録第3-73号

(有)えびす興産

太平洋トラベル

代表取締役 岡本 直人

〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
 TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376





振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	* 0 0 2 0 0				* 9		通常払込 料金加入 者負担
	3 9 5 7 1						
加入者名	* 広範な国民連合						
金額	千	百	十	万	千	百	十
					4	5	0000
ご依頼人	* 日本共産党高知中議員 下本文雄 (下元博司) 岡田泰司様						
料金	日 附 印 29-07-05 高知県庁内 郵便局						
備考	(64217) N94160001						

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

参加費内訳

下本文雄 15,000  
 下元博司 15,000  
 岡田泰司 15,000  
 (岡田議員  
 夕張中現地視察) 5,000

---

合計 50,000円

原本は下元議員へ添付。

# 旅 費 明 細 書

月 日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃			航空賃	車 賃		日 当	宿 泊 料		食卓料	計
					営業 換算	運賃	急 行料		定額	実費額		日 数	夜 数		
7 18	高知駅前 (7:40)	伊丹空港	札幌 (13:07)	札幌市	46.6	1,070		16,200 21,000	1,340	1 3,000	1 14,800		57,410		
19		札幌市(研修)		札幌市						1 3,000	1 14,800		17,800		
20	札幌 (9:35)	伊丹空港	高知駅前 (15:10)		46.6	1,070		23,600 15,700		1 3,000			43,370		
			( )										0		
			( )										0		
			( )										0		
			( )										0		
支 度 料				円										(支給額) 円	
旅行雑費				円	93.2	2,140		76,500	1,340	3 9,000	2 29,600		118,580		

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。  
 ※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。  
 ※ 19日は帰着時刻が21時をすぎるとするため後泊とする。  
 ※ 航空賃は特別割引を利用する。



第14回全国地方議員交流研修会が、7月18日から20日まで、北海道で開催された。沖縄から北海道まで全国31の都道府県から180人を超える地方議員が参加した。この交流研修会は、広範な国民連合が提唱し呼びかけ、全国の超党派の地方自治体議員による実行委員会が主催した。

18日午後1時半から、全体会合を札幌市の北海道自治労会館大ホールで開催。

全体会合では、現地実行委員長の高橋亨北海道議会議員が歓迎のあいさつをした後、中村進一全国実行委員会代表（三重県議会議員）が主催者挨拶を行った。続いて来賓あいさつを日本労働組合総連合会北海道連合会の出村良平会長、北海道農民連盟の中原浩一書記長、北海道商工連盟の峰崎直樹会長、札幌市長代理の町田隆敏副市長から受けた。

記念講演を「トランプ政権と日本——地域の自立、自主の日本。アジアの平和」と題して亀井静香衆議院議員が行った。講演内容は持論が多くテーマに沿った内容とはいいがたいものだった。

続いて特別報告を、「北海道の現状と地方自治体の課題」について逢坂誠二氏（衆議院議員、元ニセコ町長）、「沖縄の現状と課題」について吉田勝廣氏（沖縄県政策調整監、元沖縄県議会議員、元金武町長）が行った。また、「辺野古基金」運営委員長の山内末子氏（元沖縄県議会議員）が、沖縄の闘いへの連帯と支援を呼びかけた。

広範な国民連合全国事務局の山本正治事務局長代行が問題提起を行った。

二日目19日は朝から、5つの分科会に分かれて地方自治体と日本の政治課題についての熱心な議論が行われ、その後、再び全体会合を持って、その討議内容が報告され、引き続き議論が深められた。

全体会合では、第2分科会「PFI・コンセッション。新たな民営化で地域経済は活性化するか」の議論を踏まえた、「国が地方に求めるPPP/PFI（コンセッション）推進方針に対する声明」が提案され、拍手で確認された。

また、第4分科会「地方自治体・地方議会からアジアの平和と共生に取り組む」の議論を踏まえて、露木順一氏（日本大学教授、元神奈川県開成町長）が、朝鮮半島の緊張緩和の突破口を全国の地方議員が切り開く必要があると問題提起した。この提起を受けて、福岡県日朝友好協会会長の北原守氏（元福岡県議会副議長・公明党）から、「朝鮮半島の緊張緩和、日朝関係の打開をめざして、朝鮮のことを知り理解を深めるために全国地方議員の訪朝団を送ろう」との呼びかけがなされ、拍手で確認された。

20日の夕張市、視察訪問には参加できなかった。

今回の全国地方議員交流研修会は、全国どこでも地域の疲弊、住民各層の貧困化が著しい。国民各層の不満と怒り、要求の最も身近で政治に携わる全国の地方議員が、地域から政治に発言していくことがこれまでになく求められた。

参加した第一分科会では就学援助費の前倒し支給の問題も議論となり、経験が交流され

た。また、貧困の連鎖を断ち切るためにも高校進学のための無料塾の開催が議論された。高知においてのチャレンジ塾の経験も報告した。

さらに、地方の人口減少については地域別最低賃金の課題もあること、高知市では公共調達条例（公契約条例）があることなども紹介し、地方から引き上げの声を上げるべき発言を行った。

また、朝鮮半島情勢など戦争の危機も高まる中で、地域住民の安全に責任を持つ立場の地方議員が、党派を超えて国に対し、日本独自の自主的な平和外交を求め、全国の地域が平和で豊かに暮らせる政治実現のため奮闘することが強調された。

また、沖縄県が翁長雄志知事を先頭に、県民生活の安定向上と平和な環境づくりに日々奮闘している経験に学びながら、全国どこでも地域住民とともに、地域経済と暮らしの安定向上、地方自治と民主主義のために汗を流し、国にも物申す知事など首長を実現すべきだとの発言も目立った。

全国の地方自治体議員が党派を超えて経験を交流し、議論する中で地域と国の政治を変えていく連携を確認する重要な交流会となった。

# 第14回全国地方議員交流研修会

日時：2017年7月18日(火)～19日(水) / 札幌市 20日(木) 現地視察 / 夕張市

会場：北海道自治労会館 (〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3 電話 011-747-1457)

第1日目：7月18日(火)

◆全体会合 PM 1:30～5:30 (1:00 開場)



記念講演「トランプ政権と日本——直面する国と地域の課題」(仮題)  
亀井静香・衆議院議員

★各界あいさつ 農業団体 / 商工団体 / 労働団体 / 他

特別報告「沖縄県の現状と課題」(仮題)

吉田勝廣 (沖縄県政策調整監、元沖縄県議、元金武町長) (依頼中) 他

★問題提起 実行委員会・広範な国民連合全国事務局

◆名刺交換会 PM 6:00～7:30 / ホテル札幌ガーデンパレス

2日目：7月19日(水)

◆分科会 (第1～第5分科会) AM 9:30～ ◆全体会合～PM 4:30

第3日目：7月20日(木)

◆現地視察 夕張市の現状と課題

8:30 道議会出発→10:00～13:30 夕張市役所にてオリエンテーション後、市内視察→14:30 新千歳空港→15:30 分科会



参加費：都道府県市区議 / 15,000 円 町村議 / 5,000 円

●夕張現地視察参加費 / 5,000 円 名刺交換会費 / 5,000 円

弁当代 / 1,000 円 (19日昼食) は別料金

【申込方法】議会事務局にお送りした申込書をコピーしていただくか、「広範な国民連合」ホームページ (<http://www.kokuminrengo.net/>) の「地方議員交流研修会紹介」のところから申込書をダウンロードしてEメールあるいはFAXにてお申込下さい。

\*第1次締め切り / 6月20日(火)

参加費は所定の郵便振替用紙にてご送金をお願いします。現職議員の方は用紙を議会事務局に送っておりますので、問い合わせ下さい。議会事務局に無い場合はご連絡下さい。

主催 第14回全国地方議員交流研修会実行委員会

実行委員会代表 中村進一 (三重県議会議員) 副代表 高橋 亨 (北海道議会議員) 原竹岩海 (福岡県議会議員)

全国事務局 〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F 電話 090-8588-8307(迫田) FAX 044-541-2066 E-mail [giin@kokuminrengo.net](mailto:giin@kokuminrengo.net)



# 第14回全国地方議員交流研修会のご案内

全国の地方議員の皆さん、お元気で過ごしてでしょうか。「広範な国民連合」の呼びかけで始まった全国地方議員交流会は今年で14回を迎えます。初めて北海道での開催が決定し、地元の議員の皆さんが、全国から仲間を受け入れるため準備を開始しました。4月26日には第1回実行委員会が開かれ、九州から北海道まで超党派の議員が集まって開催要綱を決定しました。

記念講演は衆議院議員 亀井静香氏による「トランプ政権と日本の進路」(仮題)と決まり、3日目の現地視察には地方財政問題を抱えてきた旧産炭地・夕張市を訪問します。

米国では、製造業の国外移転で生活が苦しくなった白人労働者が、エリート層中心の政治に不満を爆発させて、トランプ大統領を誕生させました。日本はどうでしょうか。アベノミクスはすでに破たんしただけでなく、所得格差を拡大し、多くの国民の生活は急速に悪化しています。地方創生などと言われますが、地方経済は疲弊し、貧困化だけが進んでいます。国の福祉政策の後退で、国民や地方の負担が増えました。しかも、登場したトランプ政権は「米国第一」を掲げ、日本に対する市場開放圧力を強めています。地域経済を支えている農業が大きな打撃を受けることは必至です。

米国はまた、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)への経済制裁と軍事圧力を強めて朝鮮半島の緊張を激化させています。日本政府は、米国と一体となって北朝鮮に対する圧力を強めていますが、これでは、国民の生命・財産をますます危険にさらすだけです。

地域住民の安全に責任を持つ立場の私たち地方議員は、党派を超えて国に対し、日本独自の自主的な平和外交を求める時ではないでしょうか。全国の地方議員の皆さん、私たちはもっとも身近に住民と接しています。これまで私たちは政治的立場を超えて様々な課題で議論を重ね、政府に申し入れも行ってきました。戦争をはらむ緊張が日本を覆う今年、全国の地域が平和で豊かに暮らせる政治を実現する正念場です。

全国でもっとも県民所得が低い沖縄県は、翁長雄志知事を先頭に、県民生活の安定向上と平和な環境づくりに日々奮闘しています。全国どこでも、地域住民とともに地方自治と民主主義のために汗を流し、国に物申す知事や首長が今ほど必要な時はありません。

北海道の自治体の現状は、将来の全国の自治体の縮図とも言われます。私たち地方議員が日々の活動でどうすればいいのか、真に役立てた交流研修会にしましょう。遠い方も近い方も、年に一度の交流研修会にどうぞお越し下さい。北海道でお会いしましょう!

2017年5月 第14回全国地方議員交流研修会 実行委員会

## 分科会

第2日目:19日(水) 午前9:30~午後4:30 以下の分科会を予定していますが、変更の可能性もあります。各分科会に助言者が付きます。

### 1 「疲弊と貧困化がすすむ地域をどうするか。打開に向けた自治体の課題」

地域の疲弊と貧困化が急速に進み、アベノミクスなどの政策が拍車をかけています。アメリカが要求する農畜産物の市場開放や日米FTAが実行されたならば、壊滅的な影響が予測されます。

「人口急減」「地方消滅」などとおどかされ、「地方創生」が叫ばれて、各自治体は「人口ビジョン」と「総合戦略」を決めました。はたして打開の道になっているのか、誰の利益になっているのでしょうか。

一方で、「過疎指定」を受ける自治体の4割では、2015年までの5年間に30代の女性が4割も増えています。こうした地域の特徴は、地域住民を主人公にして「個性を生かした地域づくり」を進めていることだと言われます。全国の実例や現状を出し合いながら、歴史経過も検証し、打開の方策を議論します。

### 2 「PFI・コンセッション。新たな民営化で地域経済は活性化するか」

政府と財界は「成長戦略」の一環として、600兆円の経済効果創出をうたい、上下水道事業をはじめ様々な公的施設の民営化を推進しています。2022年までに事業規模を21兆円とする目標を立て、2015年、人口20万人以上の都市のインフラ整備はPFIを原則とする骨太方針を閣議決定しました。

主流となるPFI・コンセッションはこれまでの委託とは異なり「事業譲渡」です。自治体には「公共施設等総合管理計画」の策定が義務付けられ、図書館、博物館、保育所、介護施設、動物園、公園など各地で具体化が進んでいますが、はたして、政府が主張するように「都市活力の向上」「新たな有望成長市場の創出・拡大」となるのでしょうか。地域の公共サービスを支えてきた公務員はどうなるのでしょうか。現状を出し合い、「新たな民営化」は誰のための施策なのか、検証し、課題を明らかにします。

### 3 「地方財政の危機をどう打開するか」

いま、各地の地方財政は押しなべて厳しい現状にあります。しかし、政府は地方交付税を大幅に減額し、「トップランナー方式」で自治体同士を競わせ、地方はますます追い込まれています。

1990年以降、日米構造協定で「内需拡大」と称する公共事業の消化を押し付けられた結果、全国の自治体が巨額の負債を抱えることになった経過もあります。こうした過去の経過とその後の検証を踏まえつつ、はたして自治体財政が地域住民に平等に運用されているのか、収支両面の分析、検討しましょう。

「夕張のようになる」と言われた夕張市の財政。今回はその「破綻」の原因にも迫り、地域住民の犠牲の上にすすめられた「再建」を検証します。

### 4 「地方自治体・地方議会からアジアの平和と共生に取り組む」

「朝鮮半島有事」があおられ、日米の軍事一体化がすすむ中、いま沖縄県民の6割以上が日米両政府が強引にすすめる新基地建設に、を表明し、全国各地でも辺野古沖埋め立ての土砂搬出やオスプレイの配備・訓練に反対する様々な取り組みがすすめられています。

不平等きわまりない日米地位協定に対して、沖縄県と県議会をはじめ、米軍基地を抱える全国の自治体、全国知事会や町村議長会など地方からは「抜本見直し」の声が相次いでいます。

「外交や防衛は国政の専権事項」と言われてきましたが、東アジアに緊張と不安が高まる今、地方議員も座視してはいられません。隣国・中国や韓国、朝鮮などアジアの友好都市と民間交流を深め、行き来することがいっそう大事になってきました。経験を持ちより、こうした取り組みについても議論します。

### 5 「首長交代!豊かに暮らせる地域をめざし、国に物申す自治体をつくる」

全国でもっとも県民所得が低い沖縄県では、翁長雄志知事の就任以来、基地問題とともに、子どもの貧困対策やアジアに開かれた産業経済政策など、県民生活の安定と向上をめざした特徴ある取り組みが進んでいます。

地方自治と民主主義がないがしろにされ、住民生活の困窮化が進む今日、全国どここの町や村でも住民が豊かに暮らせる地域経済と政治をめざして汗を流し、そのためには国に物申す知事や首長が必要です。

地域政治が少数の利害・利権ではなく大多数の地域住民の利益となり、地方自治と民主主義を破壊する安倍政権に物申すよう、首長交代を実現させた各地の実情や歴史的経験などを出し合って議論します。

様式第7号（第6条関係）

活動内容報告書兼

政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	2017年7月18日（火）～20日（木）	
	支出先	太平洋トラベル他	
	目的・内容 ・結果等	第14全国地方議員交流研修会 第5分科会「首長後退！豊かに暮せる地域をめざし、国に物申す自治体をつくる」に参加	
支出金額等	項目	用途内容の明細，積算の基礎等	金額（円）
	調査研究費		
	研修費	第14全国地方議員交流研修会費用 別紙「参考様式1」のとおり	123,080
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
			合計
領収証書及び支払証明書添付枚数 <u>3</u> 枚			
備考			

※ 枠内に収まらない場合は，別紙に整理し添付してください。

規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金53,480円也
内 容	第14全国地方議員交流研修会参加交通費
支 払 先	とさでん交通、JR北海道、広範な国民連合
支 払 年 月 日	2017年7月18日(火)、19日(水)、20日(木)
理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input checked="" type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他(下記のとおり) 別紙「参考様式1」のうち ①高知市役所～高知空港連絡バス(往復割引)1,340円＝自動発券機で購入のため。 ③新千歳空港～札幌駅 1,070円及び④札幌駅～新千歳空港 1,070円＝スイカ利用のため。 ⑤参加費 50,000円＝郵便振込のため。このうち 15,000円が下元博司分 ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄 様

2017年8月3日

依頼者氏名 下元 博司 印



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年8月3日

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄



参考様式1 視察に係る旅費交通費（規則様式第8号別紙）

別紙

視察に係る旅費交通費

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
	高知市役所～高知空港（往復 7/18・20）	空港連絡便	往復割引利用	① 1,340
7/18	高知空港～伊丹空港	航空機		② 95,600
	伊丹空港～新千歳空港	航空機		②に含む
	新千歳空港～札幌駅	JR		③ 1,070
		研修	北海道自治労会館	
	ホテル京阪札幌	宿泊		②に含む
		日当		3,000
7/19	研修		北海道自治労会館	
	札幌駅～新千歳空港	JR		④ 1,070
	新千歳空港～羽田空港			②に含む
	JAL シティ羽田東京	宿泊		②に含む
		日当		3,000
7/20	羽田空港～高知空港			②に含む
	高知空港～高知市役所			①に含む
		日当		3,000
(研修参加費 15,000)				⑤(15,000)
合 計				108,080 (123,080)

※ 支出を伴わない移動（徒歩、相手方による送迎等）は記載不要。

※ 旅費は、高知市役所を出発地として計算。

# 旅 費 明 細 書

月	日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄道賃			航空賃	車賃		宿泊料	食卓料	計
						営業 換算	運賃	急 行料		計	定額			
7	18	高知駅前 (7:40)	伊丹空港	札幌 (13:07)	札幌市	46.6	1,070		16,200 21,000	1,340	1	3,000	14,800	57,410
19			札幌市(研修)		札幌市						1	3,000	14,800	17,800
20			札幌市(研修)		札幌市						1	3,000	14,800	17,800
21		札幌 (9:35)	伊丹空港	高知駅前 (15:10)		46.6	1,070		23,600 15,700		1	3,000		43,370
				( )										0
				( )										0
				( )										0
				( )										0
支度料														0
旅行雑費									76,500		4	12,000	344,400	136,380
合計						93.2	2,140			1,340				(支給額) 円

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。  
 ※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。  
 ※ 20日は帰着時刻が21時をすぎたため後泊とする。  
 ※ 航空賃は特別割引を利用する。



# 領収証

日本共産党高知市議団  
下元 様

No. 0014702

金額	千	百	十	円
	4	9	5	6.00

但し 7/10~20 (仮預札帳) 7/18~19 総務課 北海道庁 212  
29 年 7 月 19 日 上記正に領収いたしました



内訳  
 振替  
 消費税額等  
 ( % )

高知県知事登録第3-73号  
 (有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
 代表取締役 岡本 直人  
 〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
 TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376



## 振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	00200	9	通帳払込 料金加入 者負担
	39571		
加入者名	* 広範な国民連合		
金額	千	百	十
	4	9	5
ご依頼人	* 日本共産党高知市議団 下元 文雄 (下元 博司) (岡田 泰司) 様		
料金	日 附 印 29-07-05 高知県庁内 郵便局		
備考	(64217 ) N94160001		

## 参加費内訳

下本文雄 15.000  
 下元博司 15.000  
 岡田泰司 15.000  
 (岡田議員  
夕張市現地視察 5.000)

合計 50.000円

この受領証は、大切に保管してください。

# 請 求 書

2017/7/3

日本共産党高知市議団 様  
下元様

毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
下記の通りご請求申し上げます

ご請求金額 ¥95,600

高知県知事登録第3-73号

(有) えびす興産



太平洋トラベル

代表取締役

岡本直人

780-0074 高知市南金田1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376

ご旅行期間	2017/7/18 ~ 2017/7/20	担当者	
-------	-----------------------	-----	--

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
7/18-20マイステイ東京	41,300	1	41,300	7/18 JAL490 7/19 JALシティ羽田東京宿泊 7/20 JAL493
7/18-19紀行倶楽部北海道	54,300	1	54,300	7/18 JAL509 7/18 ホテル京阪札幌宿泊 7/19 JAL524
合計金額			95,600	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			95,600	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

四国銀行・木屋橋支店・普通・口座番号0669906 太平洋トラベル  
ゆうちょ銀行 01650-0-55468 太平洋トラベル

# 第14回全国地方議員交流研修会

日時：2017年7月18日(火)～19日(水) / 札幌市 20日(木) 現地視察 / 夕張市

会場：北海道自治労会館 (〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3 電話 011-747-1457)

第1日目：7月18日(火)

◆全体会合 PM1:30～5:30 (1:00 開場)



記念講演「トランプ政権と日本——直面する国と地域の課題」(仮題)  
亀井静香・衆議院議員

★各界あいさつ 農業団体 / 商工団体 / 労働団体 / 他

特別報告「沖縄県の現状と課題」(仮題)

吉田勝廣 (沖縄県政策調整監、元沖縄県議、元金武町長)

★問題提起 実行委員会・広範な国民連合全国事務局

◆名刺交換会 PM6:00～7:30 / ホテル札幌ガーデンパレス

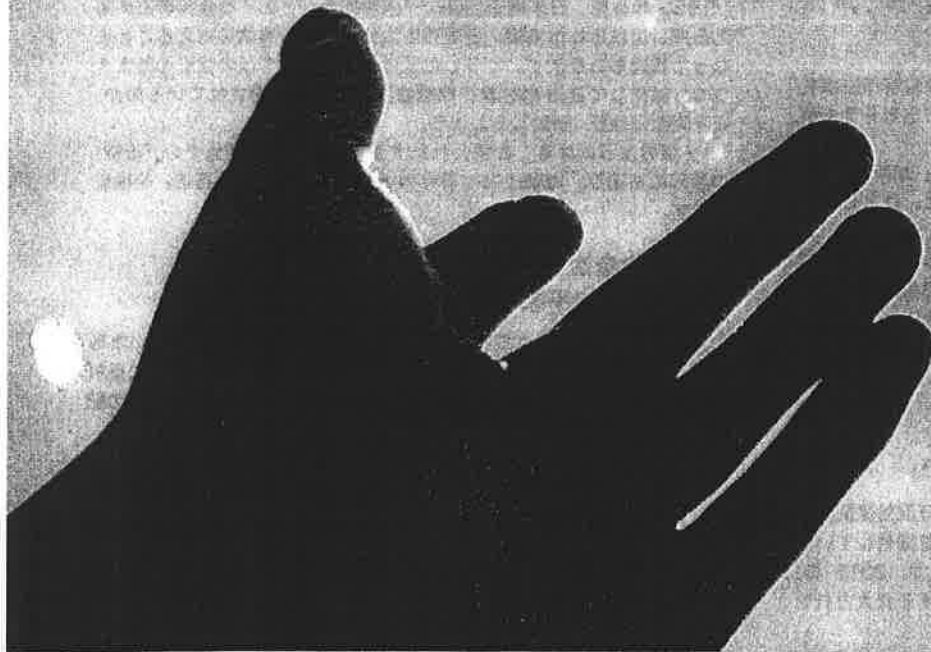
第2日目：7月19日(水)

◆分科会 (第1～第5分科会) AM9:30～ ◆全体会合～PM4:30

第3日目：7月20日(木)

◆現地視察 夕張市の現状と課題

8:30 道議会出発→10:00～13:30 夕張市役所にてオリエンテーション後、市内視察→14:30 新千歳空港→15:30 道議会



参加費：都道府県市区議 / 15,000円 町村議 / 5,000円

●夕張現地視察参加費 / 5,000円 名刺交換会費 / 5,000円 一般参加費 / 1,000円  
弁当代 / 1,000円 (19日昼食) は別料金

【申込方法】 議会事務局にお送りした申込書をコピーしていただくか、「広範な国民連合」  
ホームページ (<http://www.kokuminrengo.net/>) の「地方議員交流研修会紹介」  
のところから申込書をダウンロードしてEメールあるいはFAXにてお申込下さい。

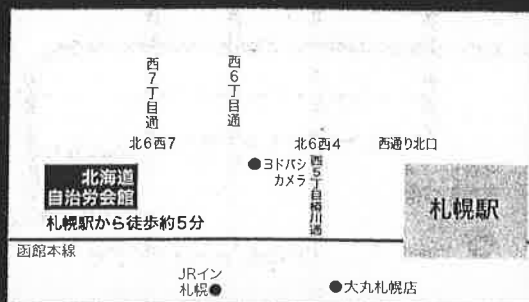
\*第1次び切 / 6月20日(火)

参加費は所定の郵便振替用紙にてご送金をお願いします。現職議員の方は用紙を議会事務局に送っておりますので、問い合わせ下さい。議会事務局に無い場合はご連絡下さい。

主催 第14回全国地方議員交流研修会実行委員会

実行委員会代表 中村進一 (三重県議会議員) 副代表 高橋亨 (北海道議会議員) 原竹岩海 (福岡県議会議員)

全国事務局 〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F 電話 090-8588-8307(迫田) FAX 044-541-2066 E-mail giin@kokuminrengo.net



# 第14回全国地方議員交流研修会のご案内

全国の地方議員の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。「広範な国民連合」の呼びかけで始まった全国地方議員交流会は今年で14回を迎えます。初めて北海道での開催が決定し、地元の議員の皆さんが、全国から仲間を受け入れるため準備を開始しました。4月26日には第1回実行委員会が開かれ、九州から北海道まで超党派の議員が集まって開催要綱を決定しました。

記念講演は衆議院議員 亀井静香氏による「トランプ政権と日本の進路」(仮題)と決まり、3日目の現地視察には地方財政問題を抱えてきた旧産炭地・夕張市を訪問します。

米国では、製造業の国外移転で生活が苦しくなった白人労働者が、エリート層中心の政治に不満を爆発させて、トランプ大統領を誕生させました。日本はどうでしょうか。アベノミクスはすでに破たんしただけでなく、所得格差を拡大し、多くの国民の生活は急速に悪化しています。地方創生などと言われますが、地方経済は疲弊し、貧困化だけが進んでいます。国の福祉政策の後退で、国民や地方の負担が増えました。しかも、登場したトランプ政権は「米国第一」を掲げ、日本に対する市場開放圧力を強めています。地域経済を支えている農業が大きな打撃を受けることは必至です。

米国はまた、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)への経済制裁と軍事圧力を強めて朝鮮半島の緊張を激化させています。日本政府は、米国と一体となって北朝鮮に対する圧力を強めていますが、これでは、国民の生命・財産をますます危険にさらすだけです。

地域住民の安全に責任を持つ立場の私たち地方議員は、党派を超えて国に対し、日本独自の自主的な平和外交を求める時ではないでしょうか。全国の地方議員の皆さん、私たちはもっとも身近に住民と接しています。これまで私たちは政治的立場を超えて様々な課題で議論を重ね、政府に申し入れも行ってきました。戦争をはらむ緊張が日本を覆う今年、全国の地域が平和で豊かに暮らせる政治を実現する正念場です。

全国でもっとも県民所得が低い沖縄県は、翁長雄志知事を先頭に、県民生活の安定向上と平和な環境づくりに日々奮闘しています。全国どこでも、地域住民とともに地方自治と民主主義のために汗を流し、国に物申す知事や首長が今ほど必要な時はありません。

北海道の自治体の現状は、将来の全国の自治体の縮図とも言われます。私たち地方議員が日々の活動でどうすれば良いのか、真に役立つ充実した交流研修会にしましょう。遠い方も近い方も、年に一度の交流研修会にどうぞお越し下さい。北海道でお会いしましょう!

2017年5月 第14回全国地方議員交流研修会 実行委員会

## 分科会

第2日目:19日(水) 午前9:30~午後4:30 以下の分科会を予定していますが、変更の可能性もあります。各分科会に助言者が付きます。

### 1 「疲弊と貧困化がすすむ地域をどうするか。打開に向けた自治体の課題」

地域の疲弊と貧困化が急速に進み、アベノミクスなどの政策が拍車をかけています。アメリカが要求する農畜産物の市場開放や日米FTAが実行されたならば、壊滅的な影響が予測されます。

「人口急減」「地方消滅」などおどかさされ、「地方創生」が叫ばれて、各自治体は「人口ビジョン」と「総合戦略」を決めました。はたして打開の道になっているのか、誰の利益になっているのでしょうか。

一方で、「過疎指定」を受ける自治体の4割では、2015年までの5年間に30代の女性が4割も増えています。こうした地域の特徴は、地域住民を主人公にして「個性を生かした地域づくり」を進めていることだと言われます。全国の実例や現状を出し合いながら、歴史経過も検証し、打開の方策を議論します。

### 2 「PFI・コンセッション。新たな民営化で地域経済は活性化するか」

政府と財界は「成長戦略」の一環として、600兆円の経済効果創出をうたい、上下水道事業をはじめ様々な公的施設の民営化を推進しています。2022年までに事業規模を21兆円とする目標を立て、2015年、人口20万人以上の都市のインフラ整備はPFIを原則とする骨太方針を閣議決定しました。

主流となるPFI・コンセッションはこれまでの委託とは異なり「事業譲渡」です。自治体には「公共施設等総合管理計画」の策定が義務付けられ、図書館、博物館、保育所、介護施設、動物園、公園など各地で具体化が進んでいますが、はたして、政府が主張するように「都市活力の向上」「新たな有望成長市場の創出・拡大」となるのでしょうか。地域の公共サービスを支えてきた公務員はどうなるのでしょうか。現状を出し合い、「新たな民営化」は誰のための施策なのか、検証し、課題を明らかにします。

### 3 「地方財政の危機をどう打開するか」

いま、各地の地方財政は押しなべて厳しい現状にあります。しかし、政府は地方交付税を大幅に減額し、「トップランナー方式」で自治体同士を競わせ、地方はますます追い込まれています。

1990年以降、日米構造協議で「内需拡大」と称する公共事業の消化を押し付けられた結果、全国の自治体が巨額の負債を抱えることになった経過もあります。こうした過去の経過とその後の検証を踏まえつつ、はたして自治体財政が地域住民に平等に運用されているのか、収支両面の分析、検討しましょう。

「夕張ようになる」と言われた夕張市の財政。今回はその「破綻」の原因にも迫り、地域住民の犠牲の上にすすめられた「再建」を検証します。

### 4 「地方自治体・地方議会からアジアの平和と共生に取り組む」

「朝鮮半島有事」があおられ、日米の軍事一体化がすすむ中、いままも沖縄県民の6割以上が日米両政府が強引にすすめる新基地建設に反対を表明し、全国各地でも辺野古沖埋め立ての土砂搬出やオスプレイの配備・訓練に反対する様々な取り組みがすすめられています。

不平等きわまりない日米地位協定に対して、沖縄県と県議会をはじめ、米軍基地を抱える全国の自治体、全国知事会や町村議長会など地方からは「抜本見直し」の声が相次いでいます。

「外交や防衛は国政の専権事項」と言われてきましたが、東アジアに緊張と不安が高まる今、地方議員も座視してはいられません。隣国・中国や韓国、朝鮮などアジアの友好都市と民間交流を深め、行き来することがいっそう大事になってきました。経験を持ちより、こうした取り組みについても議論します。

### 5 「首長交代!豊かに暮らせる地域をめざし、国に物申す自治体をつくる」

全国でもっとも県民所得が低い沖縄県では、翁長雄志知事の就任以来、基地問題とともに、子どもの貧困対策やアジアに開かれた産業経済政策など、県民生活の安定と向上をめざした特徴ある取り組みが進んでいます。

地方自治と民主主義がないがしろにされ、住民生活の困窮化が進む今日、全国どここの町や村でも住民が豊かに暮らせる地域経済と政治をめざして汗を流し、そのためには国に物申す知事や首長が必要です。

地域政治が少数の利害・利権ではなく大多数の地域住民の利益となり、地方自治と民主主義を破壊する安倍政権に物申すよう、首長交代を実現させた各地の実情や歴史的経験などを出し合って議論します。



活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党

	期間又は月日	2017年7月18日（火）～7月20日（木）	
	支出先	第14回全国地方議会議員交流研究集会・実行委員会事務局。太平洋トラベル他	
活動内容等	目的・内容・結果等	<p>地域住民の安全に責任を持つ立場の地方議員は、政治的立場、党派を超えて様々な課題で議論する。全国の地域が平和で豊に暮らせる政治を実現するための学習研究集会。●1日目、全体会、記念講演「トランプ政権と日本一」亀井静香・衆院議員。特別報告、「沖縄県の現状と課題」吉田勝廣・元沖縄県議。●第2日目、分科会【第2分科会】「PFI・コンセッション。新たな民営化で地域経済は活性化するか」政府と財界は「成長戦略」の一環として、600兆円の経済効果創出をうたい、上下水道事業をはじめ様々な公的施設の民営化を推進している。2022年までに事業規模を21兆円とする目標を立て、2015年人口20万人以上の都市のインフラ整備はPFIを原則とする骨太方針を閣議決定している。「PFI・水道の民営化とともに世界は撤退を始めた施策・・・財界言いなりの日本政府・官僚の愚かさを認識しなければならない」。●第3日目、「夕張市の現状と課題」現地視察。人口8,000人、財政破綻のまちは炭鉱から観光への施策変更へレジャーランド化など、観光施策の見誤りと過大投資が破綻の原因。観光振興は、そこにしかない歴史と文化に根付いたものを基調としなければならないことを物語っている。【参加費・15,000円、夕張市現地視察5,000円】</p> <p>※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。</p>	
支出金額等	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費	第14回全国地方議会議員交流研究集会	116,210円
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
		合計	116,210円
	領収証書及び支払証明書添付枚数		3 枚
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金2,410円 也
内 容	空港連絡バス(県庁前=高知空港・往復)、 JR(千歳空港~札幌)
支 払 先	とさでん交通空港連絡バス=1,340円 JR北海道=1,070円 ( 往路のみ利用 復路は送迎バス利用の為料金発生なし )
支 払 年 月 日	2017年 7月18日
理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 * 自動発券機による購入及びSuicaによる支払い  <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他 (下記のとおり)  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。
上記のとおり支払いましたので証明願います。 会 派 名 日本共産党 代表者氏名 下本 文雄 様 2017年 7月 31日 依頼者氏名 岡田 泰司 	
上記のとおり支払ったことを証明します。 2017年 7月 31日 会 派 名 日本共産党 代表者氏名 下本 文雄 	

別紙

視察に係る旅費交通費 (2017年7月18日～20日) 札幌

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
7/18	県庁前 ～高知龍馬空港	空港バス	@1,340円(回数券)×1/2	670
//	高知龍馬空港 ～羽田空港～札幌 千歳空港	航空機	JAL(マイステイ札幌) 往復航空券+宿泊2日セット	84,800
//	千歳空港～札幌	JR	@1,070円 北海道自治労会館	1,070
18・19	ホテル京阪札幌	2泊	(マイステイ札幌)	****
20	札幌千歳空港～ 羽田空港～高知 龍馬空港	航空機	(マイステイ札幌)	****
20	高知龍馬空港～ 県庁前	空港バス	(2枚綴り・回数券)	670
		日 当	@3,000円×3日	9,000
			以下空欄	
	参加費		=15,000円	
	夕張市現地視察費		=5,000円	
	旅費交通費 計		=96,210円(+)	
	合 計		=116,210円	
			合 計	96,210円

※ 支出を伴わない移動(徒歩,相手方による送迎等)は記載不要。

※ 旅費は,高知市役所を出発地として計算。

7/20夕張市現地視察に参加  
夕張市→新千歳空港まで  
送迎バスを利用した為,  
交通費発生しません。

領収証

日本共産党 高知市議員 岡田 様

No. 0014600

金額			百	千	円
			7	84	800

但し 7/18~20 収入印紙帳 5/19に  
 29年 7月 19日 上記正に領収いたしました



内訳

消費税額等  
( % )

高知県知事登録第3-73号

(有)えびず興産

太平洋トラベル

代表取締役 岡本 直人

〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
 TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印





# 請求書

2017/7/3

日本共産党高知市議団 様  
岡田様

高知県知事登録第3-73号  
(有) えびす興産



太平洋トラベル

代表取締役 岡本直人

780-0074 高知市南金田1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376

毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
下記の通りご請求申し上げます

ご請求金額 ¥84,800

ご旅行期間	2017/7/18 ~ 2017/7/20	担当者	
-------	-----------------------	-----	--

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
7/18-20マイステイ札幌	84,800	1	84,800	7/18 JAL490・509 7/18 ホテル京阪札幌宿泊 7/19 ホテル京阪札幌宿泊 7/20 JAL516・499
合計金額			84,800	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			84,800	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

四国銀行・木屋橋支店・普通・口座番号0669906 太平洋トラベル  
ゆうちょ銀行 01650-0-55468 太平洋トラベル

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	00200				9	通常払込 料金加入 者負担
	39571					
加入者名	広範な国民連合					
金額	千	百	十	万	千	百
				4	5	0000
ご依頼人	日本共産党高知市議団 下本文雄 (下元博司) 岡田泰司様					
料金	日 附 印 29-07-05 高知県庁内 郵便局					
備考	(64217) N94160001					

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

(参加費内訳)  
 下本文雄 15000  
 下元博司 15000  
 (岡田泰司 15000)  
 // 多額市現以礼送 5000  
 計 50000

原本は下元議員へ添付。

# 旅 費 明 細 書

月 日	出発地	経 路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃			航空賃	船 賃	車 賃		日 当		食卓料	計
					営業 換算	運賃	急 行料			定額	実費額	日 数	定額		
7 18	高知駅前 (7:40)	伊丹空港	札幌 (13:07)	札幌市	46.6	1,070		16,200 21,000		1,340	1	3,000	1	14,800	57,410
19		札幌市(研修)		札幌市							1	3,000	1	14,800	17,800
20		札幌市(研修)		札幌市							1	3,000	1	14,800	17,800
21	札幌 (9:35)	伊丹空港	高知駅前 (15:10)		46.6	1,070		23,600 15,700			1	3,000	1		43,370
			( )												0
			( )												0
			( )												0
			( )												0
支 度 料															
旅行雑費					93.2	2,140		76,500		1,340	4	12,000	3	44,400	136,380
(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。															

※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。

※ 20日は帰着時刻が21時をすぎたため後泊とする。

※ 航空賃は特別割引を利用する。

## 第14回 全国地方議員交流研修会 実施要項

日時 2017年7月18日(火)～19日(水)(札幌市)  
20日(木)現地視察(夕張市)  
会場 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目5-3)

### ■第1日目: 18日(火) 午後1時30分(1時開場) 北海道自治労会館 大会議室

#### ◆全体会合◆ 1時30分～5時30分

【記念講演】 (仮題)「トランプ政権と日本——直面する国と地域の課題」

亀井 静香先生(衆議院議員)

【各界あいさつ】 農業団体/商工団体/労働団体 ほか

【特別報告】 (仮題)「沖縄県の現状と課題」

吉田 勝廣先生(沖縄県政策調整監、元沖縄県議・金武町長)【依頼中】

【問題提起】 実行委員会/広範な国民連合 全国事務局

#### ◆名刺交換会◆ 午後6時～7時30分

### ■第2日目: 19日(水) 午前9時30分～午後4時30分

#### ◆分科会◆ 9時30分～ 北海道自治労会館 各会議室

以下の分科会を予定していますが、変更の可能性もあります。

各分科会に助言者が付きます(昨年の助言者は、地域経済問題で高沢拓志・大阪産業大学教授と元神奈川県開成町長露木順一さん、貧困と格差では藤田孝典さん(NPO法人ほっとプラス代表)、TPPと農業問題で鈴木直弘東大教授、子どもの貧困問題では、沖縄県子ども未来政策室の喜舎場健太室長、アジアの共生・平和独立の課題で白井聡さん(京都精華大教員)などでした)。

#### 【第1分科会】「疲弊と貧困化がすすむ地域をどうするか。」

##### 「打開に向けた自治体の課題」

地域の疲弊と貧困化が急速に進み、アベノミクスなどの政策が拍車をかけています。アメリカが要求する農畜産物の市場開放や日米FTAが実行されたならば、壊滅的な影響が予測されます。

「人口急減」「地方消滅」などとおどかされ、「地方創生」が叫ばれて、各自治体は「人口ビジョン」と「総合戦略」を決めました。はたして打開の道になっているのか、誰の利益になっているのでしょうか。

一方で、「過疎指定」を受ける自治体の4割では、2015年までの5年間に30代の女性

が4割も増えています。こうした地域の特徴は、地域住民を主人公にして「個性を生かした地域づくり」を進めていることだと言われます。

全国の実例や現状を出し合いながら、歴史経過も検証し、打開の方策を議論します。

## **【第2分科会】「PFI・コンセッション。」**

### **新たな民営化で地域経済は活性化するか**

政府と財界は「成長戦略」の一環として、600兆円の経済効果創出をうたい、上下水道事業をはじめ様々な公的施設の民営化を推進しています。2022年までに事業規模を21兆円とする目標を立て、2015年、人口20万人以上の都市のインフラ整備はPFIを原則とする骨太方針を閣議決定しました。

主流となるPFI・コンセッションはこれまでの委託とは異なり「事業譲渡」です。自治体には「公共施設等総合管理計画」の策定が義務付けられ、図書館、博物館、保育所、介護施設、動物園、公園など各地で具体化が進んでいますが、はたして、政府が主張するように「都市活力の向上」「新たな有望成長市場の創出・拡大」となるのでしょうか。地域の公共サービスを支えてきた公務員はどうなるのでしょうか。

現状を出し合い、「新たな民営化」は誰のための施策なのか、検証し、課題を明らかにします。

## **【第3分科会】「地方財政の危機をどう打開するか」**

いま、各地の地方財政は押しなべて厳しい現状にあります。しかし、政府は地方交付税を大幅に減額し、「トップランナー方式」で自治体同士を競わせ、地方はますます追い込まれています。

1990年以降、日米構造協議で「内需拡大」と称する公共事業の消化を押し付けられた結果、全国の自治体が巨額の負債を抱えることになった経過もあります。こうした過去の経過とその後を検証を踏まえつつ、はたして自治体財政が地域住民に平等に運用されているのか、収支両面の分析、検討しましょう。

「夕張のようになる」と言われた夕張市の財政。今回はその「破綻」の原因にも迫り、地域住民の犠牲の上にすすめられた「再建」を検証します。

## **【第4分科会】「地方自治体・地方議会から アジアの平和と共生に取り組む」**

「朝鮮半島有事」があおられ、日米の軍事一体化がすすむ中、いまでも沖縄県民の6割以上が日米両政府が強引にすすめる新基地建設に反対を表明し、全国各地でも辺野古沖埋め立ての土砂搬出やオスプレイの配備・訓練に反対する様々な取り組みがすすめられています。

不平等きわまりない日米地位協定に対して、沖縄県と県議会をはじめ、米軍基地を抱え

る全国の自治体、全国知事会や町村議長会など地方からは「抜本見直し」の声が相次いでいます。

「外交や防衛は国政の専権事項」と言われてきましたが、東アジアに緊張と不安が高まる今、地方議員も座視してはいられません。隣国・中国や韓国、朝鮮などアジアの友好都市と民間交流を深め、行き来することがいっそう大事になってきました。経験を持ちより、こうした取り組みについても議論します。

**【第5分科会】「首長交代！」**

**豊かに暮らせる地域をめざし、国に物申す自治体をつくる**

全国でもっとも県民所得が低い沖縄県では、翁長武志知事の就任以来、基地問題とともに、子どもの貧困対策やアジアに開かれた産業経済政策など、県民生活の安定と向上をめざした特徴ある取り組みが進んでいます。

地方自治と民主主義がないがしろにされ、住民生活の困窮化が進む今日、全国どこの町や村でも住民が豊かに暮らせる地域経済と政治をめざして汗を流し、そのためには国に物申す知事や首長が必要です。

地域政治が少数の利害・利権ではなく大多数の地域住民の利益となり、地方自治と民主主義を破壊する安倍政権に物申すよう、首長交代を実現させた各地の実情や歴史的経験などを出し合って議論します。

◆全体会合◆ 3時～4時半 北海道自治労会館 大会議室

**■第3日目：20日（木）◆現地視察◆ 「夕張市の現状と課題」**

8:30 道議会出発～10:00 夕張市到着 10:00～13:30 夕張市内市役所で聞き取り、市内視察など 9:30 10:20 12:50 14:15 16:30 18:55

13:30 夕張市出発～14:30 新千歳空港 着～15:30 道議会 着

参加費 都道府県・区市議 15,000円 町村議 5,000円 夕張現地視察 5,000円

主催 第14回 全国地方議員交流研修会実行委員会

代表 中村進一（三重県議会議員）

副代表 高橋 亨（北海道議会議員） 原竹岩海（福岡県議会議員）

全国事務局 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2階 「日本の進路」地方議員版  
編集部 Tel 044-511-0427 Fax 044-541-2066 担当・迫田富雄  
携帯電話 090-8588-8307 e-mail:giin@kokuminrengo.net

現地連絡先 北海道議会 民進党・道民連合議員会 政策審議会事務局  
(担当・日置大助) Tel011-231-4111 (33-151) e-mail:hioki@minsyu.net

# 第14回全国地方議員交流研修会

日時：2017年7月18日(火)～19日(水) / 札幌市 20日(木) 現地視察 / 夕張市

会場：北海道自治労会館 (〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3 電話 011-747-1457)

## 第1日目：7月18日(火)

◆全体会合 PM 1:30～5:30 (1:00 開場)



記念講演「トランプ政権と日本——直面する国と地域の課題」(仮題)  
亀井静香・衆議院議員

★各界あいさつ 農業団体 / 商工団体 / 労働団体 / 他

特別報告「沖縄県の現状と課題」(仮題)

吉田勝廣 (沖縄県政策調整監、元沖縄県議、元金武町長)【依頼中】他

★問題提起 実行委員会・広範な国民連合全国事務局

◆名刺交換会 PM 6:00～7:30 / ホテル札幌ガーデンパレス

## 2日目：7月19日(水)

◆分科会 (第1～第5分科会) AM 9:30～ ◆全体会合～ PM 4:30

## 第3日目：7月20日(木)

◆現地視察 夕張市の現状と課題

8:30 道議会出発 → 10:00～13:30 夕張市役所にてオリエンテーション後、市内視察 → 14:30 新千歳空港 → 15:30 道議会

参加費：都道府市区議 / 15,000円 町村議 / 5,000円

●夕張現地視察参加費 / 5,000円 名刺交換会費 / 5,000円

弁当代 / 1,000円 (19日昼食) は別料金

【申込方法】 議会事務局にお送りした申込書をコピーしていただくか、「広範な国民連合」ホームページ (<http://www.kokuminrengo.net/>) の「地方議員交流研修会紹介」のところから申込書をダウンロードしてEメールあるいはFAXにてお申込下さい。

\*第1次締め切り / 6月20日(火)

参加費は所定の郵便振替用紙にてご送金をお願いします。現職議員の方は用紙を議会事務局に送っておりますので、問い合わせ下さい。議会事務局に無い場合はご連絡下さい。

主催 第14回全国地方議員交流研修会実行委員会

実行委員会代表 中村進一 (三重県議会議員) 副代表 高橋亨 (北海道議会議員) 原竹岩海 (福岡県議会議員)

全国事務局 〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F 電話 090-8588-8307(迫田) FAX 044-541-2066 E-mail [giin@kokuminrengo.net](mailto:giin@kokuminrengo.net)



# 第14回全国地方議員交流研修会のご案内

全国の地方議員の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。「広範な国民連合」の呼びかけで始まった全国地方議員交流会は今年で14回を迎えます。初めて北海道での開催が決定し、地元の議員の皆さんが、全国から仲間を受け入れるため準備を開始しました。4月26日には第1回実行委員会が開かれ、九州から北海道まで超党派の議員が集まって開催要綱を決定しました。

記念講演は衆議院議員 亀井静香氏による「トランプ政権と日本の進路」(仮題)と決まり、3日目の現地視察には地方財政問題を抱えてきた旧産炭地・夕張市を訪問します。

米国では、製造業の国外移転で生活が苦しくなった白人労働者が、エリート層中心の政治に不満を爆発させて、トランプ大統領を誕生させました。日本はどうでしょうか。アベノミクスはすでに破たんしただけでなく、所得格差を拡大し、多くの国民の生活は急速に悪化しています。地方創生などと言われますが、地方経済は疲弊し、貧困化だけが進んでいます。国の福祉政策の後退で、国民や地方の負担が増えました。しかも、登場したトランプ政権は「米国第一」を掲げ、日本に対する市場開放圧力を強めています。地域経済を支えている農業が大きな打撃を受けることは必至です。

米国はまた、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)への経済制裁と軍事圧力を強めて朝鮮半島の緊張を激化させています。日本政府は、米国と一体となって北朝鮮に対する圧力を強めていますが、これでは、国民の生命・財産をますます危険にさらすだけです。

地域住民の安全に責任を持つ立場の私たち地方議員は、党派を超えて国に対し、日本独自の自主的な平和外交を求める時ではないでしょうか。全国の地方議員の皆さん、私たちはもっとも身近に住民と接しています。これまで私たちは政治的立場を超えて様々な課題で議論を重ね、政府に申し入れも行ってきました。戦争をはらむ緊張が日本を覆う今年、全国の地域が平和で豊かに暮らせる政治を実現する正念場です。

全国でもっとも県民所得が低い沖縄県は、翁長雄志知事を先頭に、県民生活の安定向上と平和な環境づくりに日々奮闘しています。全国どこでも、地域住民とともに地方自治と民主主義のために汗を流し、国に物申す知事や首長が今ほど必要な時はありません。

北海道の自治体の現状は、将来の全国の自治体の縮図とも言われます。私たち地方議員が日々の活動でどうすれば良いのか、真に役立つが実した交流研修会にしましょう。遠い方も近い方も、年に一度の交流研修会にどうぞお越し下さい。北海道でお会いしましょう!

2017年5月 第14回全国地方議員交流研修会 実行委員会

## 分科会

第2日目:19日(水) 午前9:30~午後4:30 以下の分科会を予定していますが、変更の可能性もあります。各分科会に助言者が付きます。

### 1 「疲弊と貧困化がすすむ地域をどうするか。打開に向けた自治体の課題」

地域の疲弊と貧困化が急速に進み、アベノミクスなどの政策が拍車をかけています。アメリカが要求する農畜産物の市場開放や日米FTAが実行されたならば、壊滅的な影響が予測されます。

「人口急減」「地方消滅」などとおどかされ、「地方創生」が叫ばれて、各自治体は「人口ビジョン」と「総合戦略」を決めました。はたして打開の道になっているのか、誰の利益になっているのでしょうか。

一方で、「過疎指定」を受ける自治体の4割では、2015年までの5年間に30代の女性が4割も増えています。こうした地域の特徴は、地域住民を主人公にして「個性を生かした地域づくり」を進めていることだと言われます。全国の実例や現状を出し合いながら、歴史経過も検証し、打開の方策を議論します。

### 2 「PFI・コンセッション。新たな民営化で地域経済は活性化するか」

政府と財界は「成長戦略」の一環として、600兆円の経済効果創出をうたい、上下水道事業をはじめ様々な公的施設の民営化を推進しています。2022年までに事業規模を2兆1兆円とする目標を立て、2015年、人口20万人以上の都市のインフラ整備はPFIを原則とする骨太方針を閣議決定しました。

主流となるPFI・コンセッションはこれまでの委託とは異なり「事業譲渡」です。自治体には「公共施設等総合管理計画」の策定が義務付けられ、図書館、博物館、保育所、介護施設、動物園、公園など各地で具体化が進んでいますが、はたして、政府が主張するように「都市活力の向上」「新たな有望成長市場の創出・拡大」となるのでしょうか。地域の公共サービスを支えてきた公務員はどうなるのでしょうか。現状を出し合い、「新たな民営化」は誰のための施策なのか、検証し、課題を明らかにします。

### 3 「地方財政の危機をどう打開するか」

いま、各地の地方財政は押しなべて厳しい現状にあります。しかし、政府は地方交付税を大幅に減額し、「トップランナー方式」で自治体同士を競わせ、地方はますます追い込まれています。

1990年以降、日米構造協定で「内需拡大」と称する公共事業の消化を押し付けられた結果、全国の自治体が巨額の負債を抱えることになった経過もあります。こうした過去の経過とその後の検証を踏まえつつ、はたして自治体財政が地域住民に平等に運用されているのか、収支両面の分析、検討しましょう。

「夕張のようになる」と言われた夕張市の財政。今回はその「破綻」の原因にも迫り、地域住民の犠牲の上にすすめられた「再建」を検証します。

### 4 「地方自治体・地方議会からアジアの平和と共生に取り組む」

「朝鮮半島有事」があおられ、日米の軍事一体化がすすむ中、いま、沖縄県民の6割以上が日米両政府が強引にすすめる新基地建設に反発を表明し、全国各地でも辺野古沖埋め立ての土砂搬出やオスプレイの配備・訓練に反対する様々な取り組みがすすめられています。

不平等きわまらない日米地位協定に対して、沖縄県と県議会をはじめ、米軍基地を抱える全国の自治体、全国知事会や町村議長会など地方からは「抜本見直し」の声が相次いでいます。

「外交や防衛は国政の専権事項」と言われてきましたが、東アジアに緊張と不安が高まる今、地方議員も座視してはいられません。隣国・中国や韓国、朝鮮などアジアの友好都市と民間交流を深め、行き来することがいっそう大事になってきました。経験を持ちより、こうした取り組みについても議論します。

### 5 「首長交代!豊かに暮らせる地域をめざし、国に物申す自治体をつくる」

全国でもっとも県民所得が低い沖縄県では、翁長雄志知事の就任以来、基地問題とともに、子どもの貧困対策やアジアに開かれた産業経済政策など、県民生活の安定と向上をめざした特徴ある取り組みが進んでいます。

地方自治と民主主義がないがしろにされ、住民生活の困窮化が進む今日、全国どこの町や村でも住民が豊かに暮らせる地域経済と政治をめざして汗を流し、そのためには国に物申す知事や首長が必要です。

地域政治が少数の利害・利権ではなく大多数の地域住民の利益となり、地方自治と民主主義を破壊する安倍政権に物申すよう、首長交代を実現させた各地の実情や歴史的経験などを出し合って議論します。



規則様式第7号(第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	7月24日(月)	
	支出先	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会	
	目的・内容 ・結果等	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会参加費 2017年8月19日～21日	
支出金額等	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費		4,400
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
			合計
領収証書及び支払証明書添付枚数 1 枚			
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

領 収 証

日本共産党高知市議団 細木様

No. \_\_\_\_\_

★

¥ 4400-

但

第21回戦跡シンポ 参加費

2017年 8月 19日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

第21回戦跡保存全国シンポ  
高知大会実行委員会

規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金 4, 400円也
内 容	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会参加費 8月19日~21日
支 払 先	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会
支 払 年 月 日	2017年7月24日(月)
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(下記のとおり)  振込あり  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本文雄 様

2017年7月24日

依頼者氏名 細木 良



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年7月24日

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄



# ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
29-07-24	64253	カード 電信振替
記号	番号	
****		
取扱番号	お取引金額	
N257	*4,400	
	残高	
振替先 01690-5 101456 (一六九 101456)		
受取人名: センソウイセキホソノセシヨク クシホシヨウムコウチタイカ		
依頼人名: ホソキ リョウ		
今月のゆうちょ口座間の送金料金の 優遇回数は残り 2回です		

ご利用いただきましてありがとうございました。

—— ゆうちょ銀行 ——

## 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会・参加申込書

参加者氏名	(細) 木 良		
所属団体	高知市議会		
参加者連絡先	住所	〒 781-5106 高知 県 高知市 合良乙 3668-11	
	電話/FAX	☎ 023-9552	
	メール		
	宿泊予約済みの方はホテル名をお知らせください。		

	種類	資料代・料金・経費	該当に○印	小計
一般	参加費(19日)	1000円	○	2,000 円
	参加費(20日)	1000円	○	
学生	参加費(19日)	500円		円
	参加費(20日)	500円		
全国交流会	全国交流会(19日)	5000円		円
	弁当(20日)	600円		円
見学会	Aコース(21日)	2600円		2,400 円
	Bコース(21日)	2400円	○	

合計金額	4,400	円
------	-------	---

参加会議	該当に○印
全体会	
分科会①	○
分科会②	
分科会③	

※ 原則として、FAXかメールでお申し込み下さい。メールの場合はこの申込書を添付してください。  
参加申込の送付と一緒に、同封の郵便振替伝票用紙にて参加費等の振込をお願いします。

**【参加申込先】 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会**  
 〒780-0861高知県高知市升形9-11(平和資料館・草の家)  
 電話: 088-875-1275 / FAX: 088-821-0586  
 メール: GRH@ma1.seikyou.ne.jp

**【緊急連絡先】** XXXXXXXXXX

【郵便振替口座】 01690-5-101456 【口座名義】 戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

入金日      7 月 24 日

入金日を必ずご記入ください。

※分科会レポート掲載は別途申し込みが必要です。(別紙参照)

2017/8/19(土)▶21(月)

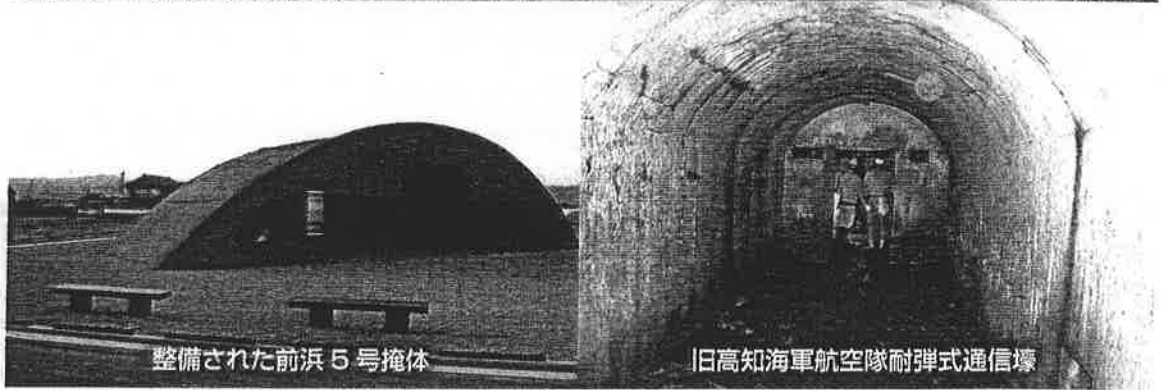
# 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

## 今こそ戦争遺跡を平和のために



旧歩兵第44連隊弾薬庫

旧歩兵第44連隊講堂



整備された前浜5号掩体

旧高知海軍航空隊耐弾式通信壕

2017年の戦争遺跡全国シンポジウムは、高知市で開催されます。高知は自由民権運動の発祥の地であり「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われております。

高知市はアジア・太平洋戦争末期、7月4日の大空襲により市街地の大半が灰燼かいじんに帰し438名の命が失われました。高知平野は、当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られました。それらの多くは実際に使われることはありませんでしたが、72年の歳月を経ても戦争の実相、虚しさを今日に伝えております。

高知での全国シンポジウムは、2000年の第4回南国市大会以来17年振りとなります。その間、旧高知海軍航空隊の残存掩体7基のすべてが南国市史跡となるなど大きな成果も見られました。確認された戦争遺跡も飛躍的に増加しましたが、新たな課題も生じています。特に旧歩兵第44連隊の弾薬庫と講堂の保存は急を要しています。全国の取組みに学びながら前進させたいと思います。

全国シンポジウムは今年で21回を迎え、指定・登録の戦争遺跡は267件となり、その存在は広く知られるようになりました。しかし平和のために戦争遺跡を学び、保存、継承していくことの今日的な意義は益々大きくなっています。今回の全国シンポジウムが、戦争遺跡の調査研究や保存の進展、交流の機会となるよう努めたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

主催 / 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

後援 / 高知県 高知市 高知市教育委員会 南国市

NHK 高知放送局 RKC 高知放送 KUTV テレビ高知 KSS さんさんテレビ 高知ケーブルテレビ  
高知新聞社 朝日新聞高知総局 毎日新聞高知支局 読売新聞高知支局 産経新聞社高知支局

# 日 程

2017年8月19日(土) (於 高知県民文化ホールグリーン)

I 全体会

受付 12:00~

全体集会 13:00~

記念講演 公文 豪 氏

「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」

基調報告 十菱駿武 (戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

地域報告

II 全国交流集会

高知会館 18:00~

2017年8月20日(日) (於 高知県民文化ホール多目的室)

I 分科会 9:00~15:10

分科会①「保存運動の現状と課題」

分科会②「調査の方法と整備技術」

分科会③「平和博物館と次世代への継承」

II 閉会集会 15:30~16:10

2017年8月21日(月)

戦争遺跡見学会 午前中

● 参加費

一般 1日 1,000円

学生 1日 500円

● 申込・問い合わせ

現地実行委員会事務局  
平和資料館・草の家

〒780-0861

高知市升形9-11

TEL 088-875-1275

FAX 088-821-0586

Eアドレス

GRH@ma1.seikyoku.ne.jp

公文 豪 氏

1948年生 (68歳)。

野市町議会議員・高知県議会議員を経て、現在は高知近代史研究会会長、土佐史談会副会長、高知大学非常勤講師。

著書『民権ばあさん・

楠瀬喜多小論』、『土佐の自由民権運動入門』、『史跡ガイド・土佐の自由民権』、共著『土佐自由民権運動日録』、校訂・宇田朋猪著『板垣退助君伝記』など。おもに自由民権運動を研究し、高知大学では植木枝盛の思想を講義している。



## 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会・参加申込書

参加者氏名			
所属団体			
参加者連絡先	住所	〒	県
	電話/FAX		
	メール		
	宿泊予約済みの方はホテル名をお知らせください。		

	種類	資料代・料金・経費	該当に○印	小計
一般	参加費(19日)	1000円		円
	参加費(20日)	1000円		
学生	参加費(19日)	500円		円
	参加費(20日)	500円		
見学会	全国交流会(19日)	5000円		円
	弁当(20日)	600円		円
	Aコース(21日)	2600円		円
	Bコース(21日)	2400円		

合計金額	円
------	---

参加会議	該当に○印
全体会	
分科会①	
分科会②	
分科会③	

※ 原則として、FAXかメールでお申し込み下さい。メールの場合はこの申込書を添付してください。  
参加申込の送付と一緒に、同封の郵便振替伝票用紙にて参加費等の振込をお願いします。

**【参加申込先】** 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会  
〒780-0861高知県高知市升形9-11(平和資料館・草の家)  
電話:088-875-1275/FAX:088-821-0586  
メール:GRH@ma1.seikyou.ne.jp

**【緊急連絡先】** XXXXXXXXXX

【郵便振替口座】01690-5-101456 【口座名義】戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

入金日	月	日
-----	---	---

入金日を必ずご記入ください。

※分科会レポート発表は別途申し込みが必要です。(別紙参照)



## 第 21 回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

大会テーマ『今こそ戦争遺跡を平和のために！』

【主催】第 21 回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

【後援】高知県 高知市 高知市教育委員会 南国市

高知新聞社 朝日新聞高知総局 毎日新聞社高知支局 産経新聞社高知支局 読売新聞社高知支局  
NHK 高知放送局 RKC 高知放送 KUTV テレビ高知 KSS さんさんテレビ 高知ケーブルテレビ

### 1.大会趣旨

2017 年の第 21 回戦争遺跡保存全国シンポジウムは高知市で開催されます。

高知は、幕末維新期に西南雄藩として名を馳せるとともに自由民権運動の発祥の地としても知られており、「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われています。

高知市はアジア太平洋戦争末期、1945 年 7 月 4 日の大空襲により市街地の大半が灰燼に帰し 438 名の命が失われました。高知平野は当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから、数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られ、それらが戦争遺跡として残存しているところも少なくありません。また、当地には反戦・抵抗についても刮目すべき歴史が刻まれています。満州事変の翌年 1932 年 2 月、歩兵第 44 連隊が上海に向かって出兵しようとする前夜、横村浩等によって書かれた出兵反対のビラが兵営内に撒かれたのです。

高知での戦争遺跡保存の取組みは、1997 年の「掩体壕を文化財に推進する会」にはじまります。翌年に戦争遺跡保存ネットワーク高知が結成され、2000 年には第 4 回戦争遺跡保存全国シンポジウムが南国市で開催されました。市民の粘り強い働きかけと行政の努力により 2006 年には旧高知海軍航空隊の残存掩体 7 基すべてが南国市史跡となり、2013 年にはその内の 1 基の調査と修復が終わり掩体公園として整備されました。その後、「地下通信所」の保存も実現されました。

しかしこの間、浦戸海軍航空隊跡など無惨にも破壊された戦争遺跡もあります。現在は旧歩兵第 44 連隊弾薬庫・講堂の保存が緊急を要する大きな課題となっています。今回の高知大会を機に全国の取組みに学び保存を進めてまいりたいと思います。

周知のように日本は今、安保関連法制のもと自国の防衛とは無関係に海外で戦争する可能性のある危険な道を進んでいます。今こそ歴史の教訓を総動員して戦後 72 年間続いて来た平和を守り抜かなければならないと思います。

来年は明治維新後 150 年です。維新以後、日本は西洋文明を取り入れ近代化を図り短期間のうちに発展を遂げました。しかしその歴史を振り返る時、手放しに肯定することはできないと思います。その前半は植民地支配と侵略戦争の時代であり、アジア太平洋戦争はその帰結でした。近代日本の歴史の「生き証人」である戦争遺跡の調査・研究や保存の意義が今日ほど強く求められている時はありません。

第 21 回高知大会が、戦争遺跡の保存の現状や課題を明らかにし、相互交流を深めさらに発展させることができるよう多くのおみなさまのご参加を願っています。

## 2.開催日と会場

2017年8月19日(土)～21日(月)

- ・ 県民文化ホールグリーンホール (19日 全体会)
- ・ " 多目的室 (20日 分科会と閉会行事)

〒780-0870 高知市本町4丁目3-30 ☎088-824-5321

## 3.会場への交通案内

- 高知龍馬空港から：空港バスで「はりまや橋」下車(約30分)、路面電車に乗り換え「県庁・市役所前」下車(約5分)、南へ徒歩で3分
- JR 高知駅から：路面電車に乗り「はりまや橋」下車(約5分)、「はりまや橋」から「鏡川橋」行に乗り換え「県庁・市役所前」下車(約5分)、南へ徒歩で3分(乗り換えの際に乗り換え券をもらって下さい)

## 4.日程と内容

(1)8月19日(土)

### ①全体集会 グリーンホール

12:00～ 受付

13:00～ 全体集会開会

- ・ 主催者挨拶(実行委員長)
- ・ 記念講演 公文 豪 先生 「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」  
(休憩)
- ・ 基調報告 十菱駿武(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)
- ・ 地域報告 2本程度 15:00～15:40
- ・ 閉会挨拶

15:50～ 会員総会

16:30～ 分科会打ち合わせ(運営委員) (17:00会場閉鎖)  
(交流会会場へ移動)

### ② 全国交流会(高知会館)

17:30～ 受付

18:00～ 交流会

\*お一人さま5,000円

(2) 8月20日(日) 分科会、閉会集会 多目的室

08:30～ 受付

09:00～15:00 分科会

分科会①:「保存運動の現状と課題」(第11多目的室 1F)

分科会②:「調査の方法と整備技術」(第6多目的室 4F)

分科会③:「平和博物館と次世代への継承」(第7・8多目的室を1つにして使用 4F)

15:10~16:00 閉会集会 (第6多目的室 4F)

分科会報告

特別決議 大会アピール

閉会挨拶

(3)8月21日(月) 遺跡見学会(午前中)

Aコース: 前浜掩体と耐弾式通信所

09:00 県民文化ホール前出発 高知龍馬空港着 11:30分 JR高知駅着 12:10

※ 懐中電灯をご持参下さい。

Bコース: 旧歩兵第44連隊弾薬庫・講堂、陸軍墓地 他

09:00 県民文化ホール前出発 12:00 県民文化ホール前着

(4)図書交換

8月20日09:00~15:00 第3多目的室(3F)

5.参加費など

参加費 一般 2000円(1日参加は1000円) 大学(院)生 1000円(1日参加は500円)

交流会参加費 5,000円

昼食弁当代 600円(8月20日)

遺跡見学会 Aコース バス代 2,600円

Bコース バス代 2,400円

6.現地実行委員会組織

実行委員長 平和資料館・草の家館長 岡村正弘

事務局長 幅 国洋(全国) 出原恵三(現地)

事務局次長 岡村啓佐

会計 太田紘志

事務局 〒780-0861 高知市升形9-11 平和資料館・草の家

☎088-875-1275 FAX088-821-0586 メールアドレス GRH@ma1.seikyou.ne.jp

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

	期間又は月日	7月25日（火）～27日（木）		
	支出先	自治体議会政策学会 等		
活動内容等	目的・内容・結果等	<p>2017年7月25日（火）～26日（水）、神奈川産業振興センター（横浜市）で開催された「第19期自治政策講座」（主催：自治体議会政策学会）に出席し、「暮らしを支える自治体の政策」に関する5テーマについて、研修を行った。</p> <p>7月27日（木）10時～12時、神奈川県社会保障推進協議会において国保運営に関する情報収集および意見交換を行った。また、14時～15時、横浜市役所において、横浜市の国保行政に関する視察を行った。</p> <p>※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。</p>		
支出金額等	項目	使途内容の明細、積算の基礎等	金額（円）	
	調査研究費			
	研修費	3人×合計87,380円：受講料30,000、旅費・交通費等48,380（2泊3日往復航空機バック45,800、交通費1,290（空港バス、羽田空港-横浜-関内）×2）、日当9,000（3,000×3日） 参加費振込み手数料432円、お土産代1,080円	263,652	
	要請・陳情活動費			
	会議費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報広聴費			
	人件費			
	事務諸費			
			合計	263,652円
			領収証書及び支払証明書添付枚数	4 枚
備考				

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

規則様式第8号(第6条関係)

行政視察報告書

報告者氏名(視察代表者) 浜口 佳寿子



1 視察者氏名

下本 文雄	細木 良	浜口 佳寿子	

2 視察期間 2017年7月25日 ~ 2017年7月27日

3 視察先, 視察事項, 選定理由, 視察結果等

視察日 視察先	視察事項及び 選定理由	視察結果 (参考となった事項, 考察)
7月25日(火) 横浜市	第19期自治体政策講座 in 横浜(神奈川産業振興セン ター)出席 「暮らしを支える自治体の政 策」に関する情報収集のため	別紙のとおり
7月26日(水) 横浜市	第19期自治体政策講座 in 横浜(神奈川産業振興セン ター)出席 「暮らしを支える自治体の政 策」に関する情報収集のため	別紙のとおり
7月27日(木) 横浜市	行政視察(神奈川県社会保 障推進協議会、横浜市役 所) 横浜市における国保行政に関 する調査・視察のため	別紙のとおり

※ 枠内に収まらない場合は, 別紙に整理し添付してください。

※ 主要な関係資料の写しを添付してください。

視察に係る旅費交通費の内訳は, 別紙のとおり。

参考様式1 視察に係る旅費交通費（規則様式第8号別紙）

別紙

視察に係る旅費交通費

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
7/25	高知駅前 ～高知龍馬空港	バス	回数券 670 円	① 670
〃	高知龍馬空港 ～羽田空港	JAL492 便	東京往復 2 泊 3 日パック	45,800※
〃	羽田空港国内線 駅～横浜駅	京浜急行線	480 円	② 480
〃	横浜駅 ～関内駅	JR 線	140 円	③ 140
7/25 ～26	神奈川産業振興 センター	受講料	30,000 円	30,000
〃	横浜伊勢佐木ワ シントンホテル	宿泊	※パック料金に含む	※
7/27	関内駅 ～横浜駅	JR 線	140 円	③ 140
〃	横浜駅～羽田空 港国内線駅	京浜急行線	480 円	② 480
〃	羽田空港 ～高知龍馬空港	JAL499 便	※パック料金に含む	※
〃	高知龍馬空港 ～高知駅前	バス	回数券 670 円	① 670
	以下、空欄			
合 計				78,380 円/人

※ 支出を伴わない移動（徒歩，相手方による送迎等）は記載不要。

※ 旅費は，高知市役所を出発地として計算。

規則様式第6号(第6条関係)

支払証明書

支払金額	金7,740円也
内容	高知駅～高知龍馬空港 往復バス料金 (参考様式金額欄①) 羽田空港国内線ターミナル駅～横浜駅 京浜急行線往復料金 (参考様式金額欄②) 横浜駅～関内駅 JR線往復料金 (参考様式金額欄③)
支払先	とさでん交通、京浜急行、JR東日本
支払年月日	2017年7月25日(火)、7月27日(木)
理由	<input checked="" type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他 (下記のとおり)  参考様式1「視察にかかる旅費交通費」の①、②および③ 計 2,580円×3人 合計 7,740円 / ⇒乗車時に自動券売機で購入のため [ (①670+②480+③140) ×2 ]  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会派名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄 様

2017年 8 月 28 日

依頼者氏名 浜口 佳寿 印

上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年 8 月 28 日

会派名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄



事務録

# 旅 費 明 細 書

月 日	出発地	経路	到着地	宿泊地	鉄道賃			航空賃	車賃		日当		食卓料	計
					営業 換算	運賃	急 行料		定額	実額	日 数	定額		
25	高知駅前 (9:00)	羽田空港	関内 (12:29)	横浜市	23.7	620	0	(特割21) 22,390	1,340	1	3,000	1 14,800		42,150
7 26		用務		横浜市						1	3,000	1 14,800		17,800
27	関内 (15:36)	羽田空港	高知駅前 (18:50)		23.7	620	0	(特割21) 22,390		1	3,000			26,010
														0
														0
														0
														0
														0
支 度 料														
旅行雑費					47.4	1,240	0	44,780	1,340	3	9,000	2 29,600	0	85,960
(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。														

※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。

(支給額) 円



# 請求書

2017/7/6

日本共産党高知市議団 様  
下本様・細木様・浜口様

毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
下記の通りご請求申し上げます

ご請求金額 ¥137,400

高知県知事登録第3-73号

(有) えびす興産

太平洋トラベル

代表取締役 岡本直人

780-0074 高知市南金田 1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376



ご旅行期間	2017/7/25 ~ 2017/7/27	担当者	
-------	-----------------------	-----	--

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
07/25-27マイステイ東京	45,800	3	137,400	7/25 JAL492
				7/25 横浜伊勢佐木町ワシントンホテル宿泊
				7/26 横浜伊勢佐木町ワシントンホテル宿泊
				7/27 JAL499
合計金額			137,400	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			137,400	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

四国銀行・木屋橋支店・普通・口座番号0669906 太平洋トラベル  
ゆうちょ銀行 01650-0-55468 太平洋トラベル

領収証

日本共産党高知市議団  
下本 様

No. 0014703

金額				百		千			円
					4	5	8	0	0

但し 7/5~27 2/25 東京分庫 212

29年7月19日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳  
税抜金額  
消費税額等 (%)

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
代表取締役 岡本直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印

領収証

日本共産党高知市議団  
細本 様

No. 0014704

金額				百		千			円
					4	5	8	0	0

但し 7/5~27 2/25 東京分庫 212

29年7月19日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳  
税抜金額  
消費税額等 (%)

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
代表取締役 岡本直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印

領収証

日本共産党高知市議団  
坂口 様

No. 0014705

金額				百		千			円
					4	5	8	0	0

但し 7/5~27 2/25 東京分庫 212

29年7月19日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳  
税抜金額  
消費税額等 (%)

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 **太平洋トラベル**  
代表取締役 岡本直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印

領 収 証

日本共産党高知市議員 竹下本雄様

No. \_\_\_\_\_

★ ¥30,000.-

但 第19期自治政策講座 in 横浜 受講料として

2017年 7月 25日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8  
イマジン第2オフィス

自治体議会政策学会  
会長 竹 下

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

日本共産党高知市議員 細木良様

No. \_\_\_\_\_

★ ¥30,000.-

但 第19期自治政策講座 in 横浜 受講料として

2017年 7月 25日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8  
イマジン第2オフィス

自治体議会政策学会  
会長 竹 下

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

日本共産党高知市議員 茨口佳寿子様

No. \_\_\_\_\_

★ ¥30,000.-

但 第19期自治政策講座 in 横浜 受講料として

2017年 7月 25日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8  
イマジン第2オフィス

自治体議会政策学会  
会長 竹 下

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〈四銀〉キャッシュサービス

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

なお、まいのお取引の明細は下記のとおりでございます。ご確認ください。



取引日 29-07-05 取扱店番 0104 0001 1115

0175008102001

取引区分 お支払 本取引金額 ¥90,000

振込引当の残高

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お支払の金額

お受取人 三井住友銀行  
麴町支店  
普通1497025  
シチタイキ カイセイサクカ ツカイ タイヒヨ  
ウカタオカ コ様  
ご依頼人  
ニホンキョウサントウコウチシキ タン 様

088-823-9404 13:54

※詳細はご利用の明細書をご覧ください。

横浜市議会事務局

 とさでんSHOPP

高知龍馬空港2階

TEL 088-864-3470

領 収 証

日本共産党高知市議団様

(金額) ¥1,080-

但し 土産代として

印紙

上記金額領収致しました  
担当

2017年07月25日(火)

#0001-03

00056473

No. 001165

#056811

ご記入後、**FAX: 03-5227-1828** までご返信ください。

**2017年 第19期自治政策講座 in 横浜**

◇ **受 講 確 認 票** ◇

自治体議会政策学会  
〒112-00013 東京都文京区音羽 1-5-8 イマジン第2オフィス  
TEL: 03-5227-1827 FAX: 03-5227-1828

貴方様の「第19期自治政策講座 in 横浜」受講希望内容は次の通りです。  
ご確認いただき、項目毎の□に✓をご記入の上、FAX・郵送にてご返信下さい。

1. 日程 (参加お申込み日に○がしてあります。△はキャンセル待ちとなります。)

第1日目 7月25日 (火) ○

第2日目 7月26日 (水) ○

2. 受講料 (三井住友銀行 麹町支店 普通 1497025自治体議会政策学会)

¥30,000 円 [講座 2 日分]

3. お名前、ご連絡先のご確認

ハマグチ カズコ

**お名前: 浜口 佳寿子 様 / 所属名: 高知市議会**

**ご連絡先: 〒780-8571 高知県高知市本町 5-1-45 高知市議会**

**TEL: [REDACTED] / FAX: 088-823-9558**

4. 領収書について

☆領収書の御宛名を下線部にお書きください。(当日、受付にてお渡し致します。)

御宛名 日本共産党 高知市議団 浜口 佳寿子

注: ご指定のない場合は、御宛名に議会名とお名前を記載した領収書となります。  
団体でお申込みの場合、個別に領収書が必要な方はその旨をご記載下さい。  
ご指定がない場合は、団体で1枚となります。

5. 連絡事項、訂正箇所などをご記入ください

例: 日程変更・キャンセル (団体でまとめてお振込の際の口座名義など)

高知市議会 日本共産党  
代表者 下本文隆

本連絡先宛 訂正下さい。

6. キャンセルについて

キャンセルが発生した場合、左記日程のキャンセル日にXをしてFAXにてお知らせ下さい。ご連絡がない場合、キャンセル料が発生します。

7. 団体でのお申込みについて

1) 団体申込みの場合、受講確認票は訂正がなければ代表の方1枚のご返信で構いません。訂正がある場合は、代表者と訂正される方の分をお送り下さい。個別に領収書が必要な方はその旨を5. にご記載下さい。

2) 領収書の個別発行のご指定がない場合は、団体で1枚となります。

3) まとめて入金される場合は、振込人名義を5. にご記載ください。

## 自治政策講座受講のご案内 (受講確認票及びお振込先)

浜口 佳寿子 様



拝啓

入梅の候、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度は、講座へのお申し込みいただきありがとうございます。

「自治体議会政策学会 第19期 自治政策講座 in 横浜」に関する受講のご確認のご案内と、受講料のお振込みのお願いです。

1. 受講料は 7月14日(金)までに右記口座へお振込みください。
2. 裏面の 受講確認票に必要事項を記入の上、領収書の宛名をご記入いただき、お手数ですが、ファクシミリ・郵送でお早めにご返送ください。
3. 当日、受付にて領収書をお渡します。  
裏面にて領収書のお宛名を必ずご記載ください。

4. キャンセルの場合は必ず開催日の10日前までにご連絡ください。

5. 宿泊希望の方は、直接宿泊先施設にご予約ください。  
ご参考までに会場最寄りの宿泊施設をご紹介します。  
別紙、会場案内をご覧ください。

第1日目 7月25日は 12時30分より  
第2日目 7月26日は 9時30分より

受付をいたします。当日、受付にて「自治体名(議会名)」と「お名前」をスタッフにお伝え下さい。

会長はじめスタッフ一同皆様とお目にかかれる事を楽しみにしております。

敬具

受講確認票を確認の上、FAXください。

受講料のお振込みは7月14日(金)まで。

領収書の宛名を必ずご記入ください。

キャンセルの場合は必ずご連絡ください。

※ご連絡なくキャンセルされた場合、キャンセル料が発生します。

記

お振込先

振込口座：三井住友銀行 麹町支店

普通 1497025

口座名：自治体議会政策学会

以上

自治体議会政策学会 事務局担当：

電話：03-5227-1827 Fax：03-5227-1828

# Councillor's Organization for Policy Argument

第19期自治政策講座 in 横浜

## 暮らしを支える 自治体の政策

開催日：2017年7月25・26日

会場：神奈川産業振興センター

主催：自治体議会政策学会

### 7月25日（火）

◆第1講義 13:00-14:30・・・ 3ページ

食からの地域再生 — 田舎力の創造へ

金丸 弘美 食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー

◆第2講義 14:40-16:30・・・ 11ページ

命をつなぐ水 — 水道法改正と自治体

橋本 淳司 水ジャーナリスト・アクアスフィア水教育研究所所長

### 7月26日（水）

◆第3講義 10:00-12:00・・・ 33ページ

セーフティネットの張替えと自治体の責務

神野 直彦 日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授

◆第4講義 13:00-14:40・・・ 41ページ

自治体の災害時の業務継続 — 行政の役割と議会の論点

紅谷 昇平 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授

◆第5講義 14:50-16:30・・・ 59ページ

超高齢社会と交通 — 免許返納と地域交通の課題

所 正文 立正大学心理学部教授



# 修了証書

高知市議会

浜口 佳寿子 殿

あなたは、自治体議会政策学会の主催による  
下記の講座を修了したことを証します。

2017年 第19期 自治政策講座 in 横浜

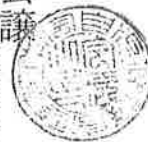
## 暮らしを支える自治体の政策

講座	開催日	講座名 / 講師
第1講義	7/25 (火)	食からの地域再生 —田舎力の創造へ 金丸 弘美 食環境アドバイザー
第2講義	7/25 (火)	命をつなぐ水 —水道法改正と自治体 橋本 淳司 アクアスフィア水教育研究所代表
第3講義	7/26 (水)	セーフティネットの張替えと自治体の責務 神野 直彦 日本社会事業大学学長
第4講義	7/26 (水)	自治体の災害時の業務継続 —行政の役割と議会の論点 紅谷 昇平 兵庫県立大学大学院准教授
第5講義	7/26 (水)	超高齢社会と交通—免許返納と地域交通の課題 所 正文 立正大学心理学部教授

平成29年 7月 26日

自治体議会政策学会

会長 竹下 謙



# 2016年神奈川県社保協 市町村国保実態調査報告書

2017年4月  
神奈川県社会保障推進協議会  
医療保険改善委員会

2017年7月3日

高知市議会議員  
下本 文雄 さま

神奈川県社会保障推進協議会  
事務局長 根本 隆  
連絡先 045-201-3900

## 神奈川県社保協・市町村国保調査報告書のご送付

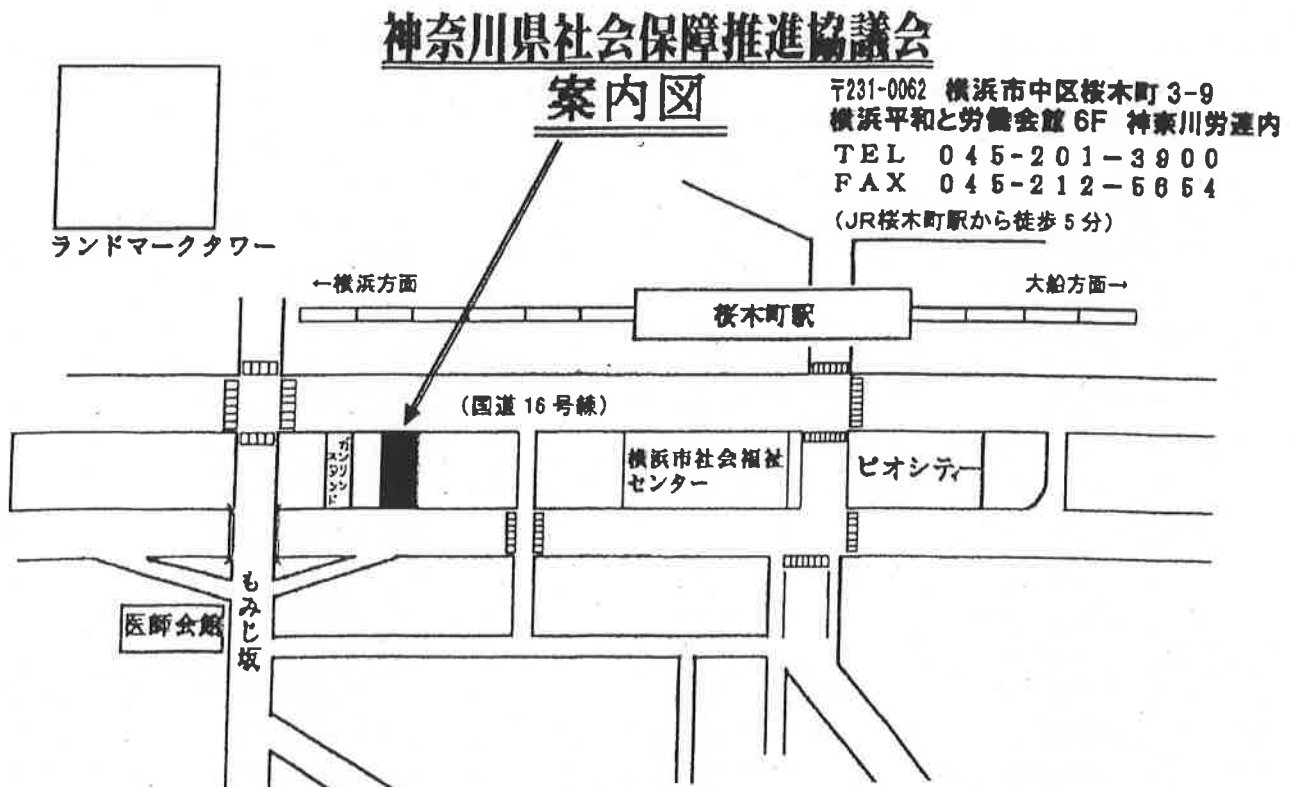
高知市市民の暮らしと福祉の向上に向けた、諸活動でのご奮闘に心から敬意を表します。

遅くなり申し訳ございませんが、私どもが作成した神奈川県の市町村国保の実態調査の報告書を送付させていただきます。

昨年秋に行った調査を報告書としてまとめたものです。資格証、短期証の交付数、滞納・差し押さえ件数なども記載していますので、ご参照くださいませ。

ただし、以下の2点で訂正が必要なのですが、訂正できていません。①藤沢市が所得のところを収入で記載したこと、②10Pの横須賀市が横浜市の数値になっていることです。

なお、7月27日（木）ですが、10:00に、以下の地図の平和と労働会館6Fでお待ちしています。私と横浜市社保協の阿部事務局長が対応させていただきます。よろしくお願ひします。



日時：2017年7月25日（火）26日（水）

場所：神奈川産業振興センター

参加：下本、浜口、細木

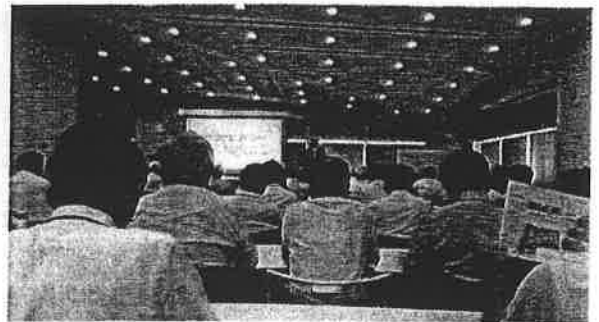
<25日>13:00~16:30

◆第1講義「食からの地域再生」金丸弘美（食環境ジャーナリスト）

講師は、高知県の産業振興にも継続的に関わるほか、全国各地の地域再生の取組みについて詳しく、先進事例の紹介が多数行われた。食を文化として位置づけ、ブランド化や広域連携、食育を通じてまちおこしにつながっている例などが参考となった。鶴岡市はユネスコの食部門での創造都市ネットワーク加盟都市（日本唯一）として取組みがおこなわれており、以前の議会質問でも高知市でも申請するよう取り上げたが、高知の食材は日本一であり、食を活かしたまちづくり観光振興に本気で取り組むことが重要。

◆第2講義「命をつなぐ水＝水道法改正と自治体＝」橋本淳司（水ジャーナリスト）

人口減少時代を迎え、ほとんどの事業体で値上げが不可避である状況の下、水道の減収を見据えた事業改革、設備更新、経営基盤の見直しが課題。国の方向として、国会で継続審議となっている水道法改正のポイントは、戦略的な施設の更新・耐震化、規模の適正化（統廃合）、施設の台帳管理などであるが、後付のように水道事業の運営権売却や公共施設等運営権導入（コンセッション）促進が書き込まれている。背景には竹中平蔵など政財界からの要請がある。しかし世界の流れは再公営化であり、コンセッションの問題点として、施設の検査不足、民間企業を監視・管理する体制の問題などあげられ、再公営化で買戻すリスクについては、「試しに民間に任せてみよう」という“火遊び料”は高くつく指摘した。また民営化は短期的な恩恵しかなく、長期的な観点が必要であると指摘した。



水道事業に対する市民との情報共有については、市民が主体的に課題解決方法を考えているレベルに引き上げなければならないと指摘、岩手県矢巾町の事例が紹介された。当町では、公募で選ばれた住民が水道の現状と課題を共有、バックキャスティングから水道料金引き上げについての理解がすすんだとのこと。その他市民の水リテラシーの向上、中山間地域での住民主体の水源管理事例など紹介された。

<26日>10:00~16:30

◆第3講義「セーフティネットの張替えと自治体の責務」神野直彦（東京大名誉教授）

コミュニティの崩壊、人間の絆が断ち切られている現代社会の下、日本は社会保障支出が先進諸国でも下位、経済成長率も低迷、貧困率はトップレベルである。そのため、社会保障充実、社会的セーフティネットの構築が喫緊の課題。

◆第4講義「自治体の災害時の業務継続＝行政の役割と議会の論点＝」紅谷昇平（兵庫県立大学院准教授）

この間発生した地震や水害の実態に基づき、備えておかななくてはならない切実な課題を、実例をもとに指摘された。

- ・ 職員の安全確保（総務課・人事課で対応）、職員の参集歩留まり予測、職員の食糧備蓄（指定管理されている職員食堂との災害時協定）、トイレ確保
- ・ スプリンクラー耐震化（揺れに反応し水が噴出、電気製品が使用不可に）
- ・ 燃料確保（民間との協定）
- ・ 自治体の所有するすべての施設の耐震化対策
- ・ 受援体制は水平支援が迅速